

2021 年 3 月分新聞書評



専業禁止!!～副業したら本業成果が上がる仕組み～

清水 正樹 著

小学館

副業することによって本業の成果も上がる! 本業のかたわら複数の仕事を持つ著者が、13 人の本業/副業の実例を紹介。生き方の変化や、本業の成果がどれだけ上がったのか、企業側のメリット等を具体的な数字と共に説明する。

2020.12./ 207p

978-4-09-388800-4

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/03/07



それでも、陽は昇る

真山仁 著

祥伝社

住宅、五輪、ボランティア、産業誘致など、被災地「復興」の掛け声の下で生じる新たな課題。俺は何をすべきか。神戸と東北、ふたつの被災地をつなぐ震災 3 部作、完結編。『小説 NON』掲載に書下ろしを加えて書籍化。

2021.2./ 223p

978-4-396-63604-3

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/03/07



定本焼絵考～日本・中国・韓国・ロシア・インドネシアの焼絵～

田部 隆幸 著

誠文堂新光社

金属の鍔を熱して紙本、絹本に描く「焼絵」の全体像を知ることができる一冊。日本・中国・韓国・ロシア・インドネシアの焼絵を紹介するとともに、「柳宗悦と朝鮮半島の焼絵について」など多数の寄稿文を収録する。

2021.2./ 303p

978-4-416-91908-8

本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2021/03/07



老婦人マリアンヌの部屋

萩野アンナ 著

朝日新聞出版

青い部屋で老婦人はベッドに横たわるが、ときにフランス小話も語る。仲間に囲まれた老婦人は、シニア婚活パーティーで意外な若き日の過去に出会うが…。どこか陽気な連作短編集。『小説トリッパー』連載に加筆修正。

2021.2./ 250p

978-4-02-251745-6

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/03/07、読売新聞 2021/03/28

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 3 月時点での税込み価格です。



コンジュジ

木崎 みつ子 著
集英社

独り、過酷な現実を生きている小学生のせれなの人生に伝説のロックスター・リアンが舞い降りた。その美しい人は、せれなの生きる理由のすべてとなって…。一人の少女による自らの救済を描く。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/03/13

2021:1./ 163p
978-4-08-771742-6
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 7 4 2 6 *



作家の手料理

野村 麻里 編
森茉莉、内田百閒ほか 著
平凡社

作家 30 人の手料理、或いは読者のためのレシピ集。金子信雄「精進揚げ」、増田れい子「甘酒のある夜」、伊丹十三「スパゲッティの正しい調理法」など、作り方が記述されたエッセイを精選収録する。

産経新聞 2021/03/13

2021:2./ 222p
978-4-582-83860-2
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 8 3 8 6 0 2 *



かぐわしき植物たちの秘密～香りとヒトの科学～

田中 修、丹治 邦和 著
山と溪谷社

便秘がちな人に役立つスズランの香り、官能を刺激するイランイランの香り、消化を助けるサンショウの香り…。ハーブや野菜、果物、野草など、身近な植物 63 種のさまざまな働きを、エビデンスを交えて楽しく解説する。

産経新聞 2021/03/13

2021:2./ 239p
978-4-635-58044-1
本体 ¥1,430〔税込〕
* 9 7 8 4 6 3 5 5 8 0 4 4 1 *



ははのれんあい

窪 美澄 著
KADOKAWA

シングルマザーになった「はは」と、代わりに双子の弟たちの「はは」役を務める僕。歪な家族があってもいい、どんな形でも家族は家族だから。学芸通信社の配信により各紙にて掲載したものを加筆修正し単行本化。

産経新聞 2021/03/14

2021:1./ 332p
978-4-04-105491-8
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 5 4 9 1 8 *



紅蓮の雪

遠田 潤子 著
集英社

双子の姉の死の真相を探るため、大衆演劇の世界に身を投じた伊吹。そこで知ったのは、一座に秘められた禁断の真実だった。血脈に刻まれた因果の物語。『小説すばる』連載に加筆修正し単行本化。

産経新聞 2021/03/14

2021:2./ 313p
978-4-08-771738-9
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 7 3 8 9 *



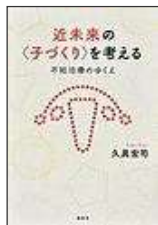
アフリカ人学長、京都修行中

ウスビ・サコ 著
文藝春秋

「一見さんお断り」はサービス精神の裏返し！「遠回しなモノ言い」は「よそさん」への気づかい？「いけずな町」京都に飛び込み、アフリカ系としては初めて日本の大学の学長となった著者が、悪戦苦闘の 30 年を綴る。

産経新聞 2021/03/14

2021:2./ 191p
978-4-16-391136-6
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 1 3 6 6 *



近未来の<子づくり>を考える～不妊治療のゆくえ～

久具 宏司 著

春秋社

現在導入されている、または近未来に導入されるであろう生殖技術の詳細を解説するとともに、これらの技術が一般化することによる子づくりの変容が、社会や国の在り方にどのような変革をもたらすのかを予測する。

2021:2./ 5p,206p,16p

978-4-393-71635-9

本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/03/14



遺したい味～わたしの東京、わたしの京都～

平松洋子／姜 尚美 著

淡交社

東京に暮らす平松洋子と京都に暮らす姜尚美が、自分のまちの「遺したい味」を教え合った往復書簡。土地を守り、語る 24 の店を紹介する。『なごみ』連載「東西おいしい往復書簡」を加筆修正。

2021:1./ 215p

978-4-473-04453-2

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/03/14



ハーバード大学のボブ・ディラン講義

萩原 健太／リチャード・F・トーマス 著

ヤマハミュージックメディア

ハーバード大学古典文学教授リチャード・トーマスが主宰する、新入生向けのボブ・ディラン講義を収録。ディランの詩を解説しながら、彼の作品と時代の関係性、そして「何が「古典」たり得るのか?」という本質的な疑問に迫る。

2021:2./ 342p

978-4-636-96219-2

本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2021/03/14



ほらぴったり

ナオミ・ジョーンズ 著

ブロンズ新社

まるといっしょに遊ぶのが大好きなさんかく。だけど、ときどきなんだかへん! さんかくは、おなじ形の仲間を探す旅に出た。自分のぴったり、どこにある? 「おなじ」も「ちがう」もどちらも楽しい、ともだちさがしの絵本。

2021:1./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-89309-682-1

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/03/14



LETTER FROM NEW YORK～篠原有司男から田名網敬一へ、50年の書簡集～

篠原有司男 著

東京キララ社

産経新聞 2021/03/14

2020:1./ 196p

978-4-903883-36-6

本体 ¥2,200〔税込〕



アクティベーター

冲方 丁 著

集英社

羽田空港に突如、中国のステルス爆撃機が飛来した。女性パイロットは告げる。「積んでいるのは核兵器だ」と。これはテロか、宣戦布告か。展開予測不能の国際サスペンス。『小説すばる』連載を加筆・修正。

2021:1./ 520p

978-4-08-771733-4

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/03/21



?かまことか

平岩 弓枝 著

文藝春秋

神様の書かれたシナリオを、大根役者の私が必死になって演じてきた...。「御宿かわせみ」の作者による、もうすぐ 90 歳の幸福エッセイ。『オール讀物』掲載を単行本化。

産経新聞 2021/03/21

2021.3./ 217p

978-4-16-391340-7

本体 ¥1,430〔税込〕



佐藤可士和の対話ノート〜対談集〜

佐藤 可士和 著

誠文堂新光社

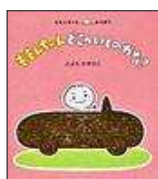
佐藤可士和がホスト役になり、重要な視点を持つ各界のキーパーソンをゲストに対談を行い、さまざまな視点からデザインの可能性を探る。『デザインノート』連載「佐藤可士和の視点とデザイン」を書籍化。

産経新聞 2021/03/21

2021.1./ 255p

978-4-416-62050-2

本体 ¥1,760〔税込〕



ももんちゃんどこへいくのかな?(ももんちゃんあそぼう)

とよた かずひこ 著

童心社

とつとことつとこ、ももんちゃんどこへいくのかな? だろんこじどうしゃ、ヘリコプターに乗ったももんちゃんに、きんぎょさん、さぼてんさん、おばけさんもついてきた。ももんちゃんがやってきたのは...。

産経新聞 2021/03/21

2021.3./ 24p

978-4-494-01573-3

本体 ¥880〔税込〕



ちゃんと知りたい!新型コロナの科学〜人類は「未知のウイルス」にどこまで迫っているか〜

出村 政彬 著

日本経済新聞出版社

新型コロナウイルスとは何者か? 感染するとどんな症状が出るのか? ワクチンは実現するのか? 解明が進みつつある新型コロナウイルス感染症について、現在までに何がわかったか、何がまだわかっていないのかを解説する。

産経新聞 2021/03/21

2020.12./ 255p

978-4-532-52080-9

本体 ¥1,980〔税込〕



日本国憲法八つの欠陥(扶桑社新書 371)

百地章 著

育鵬社

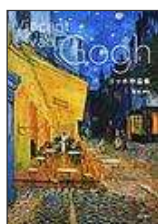
今を生きる私たちは、将来の日本人にどんな憲法を残したいのか? 緊急事態に対処する規定がない、中国・北朝鮮の侵略行為に無力な 9 条...。70 年以上放置された憲法の欠陥を指摘し、本来あるべき憲法の姿を考える。

産経新聞 2021/03/21

2021.3./ 279p

978-4-594-08737-1

本体 ¥1,056〔税込〕



ゴッホ作品集

富田 章 著

東京美術

絶大な人気を誇るゴッホの絵画を鑑賞できる作品集。代表作はもちろん、埋もれた名作の数々も掲載。平易な解説で、時代をはるかに先取りした表現に果敢に挑み続けたゴッホの革新性にスポットをあてる。

産経新聞 2021/03/21

2021.1./ 191p

978-4-8087-1195-5

本体 ¥3,300〔税込〕





麻薬と人間～100 年の物語～

ヨハン・ハリ 著

作品社

「麻薬戦争」とは、米国流の「麻薬撲滅のための戦争」のこと。100 年におよぶ「麻薬戦争」の歴史をたどり、「麻薬の危険性」の科学的根拠についても、専門家たちの検証を紹介する。2021 年公開映画の原作。

2021.2./ 501p

978-4-86182-792-1

本体 ¥3,960〔税込〕



産経新聞 2021/03/21



天を測る

今野 敏 著

講談社

世の理は、全て単純な数式で表せる。咸臨丸の太平洋横断、江戸湾海防計画、軍艦建造。論理力で欧米列強を圧倒し、近代日本の船出を陰で支えた英雄、小野友五郎の物語。『小説現代』掲載を書籍化。

2020.12./ 332p

978-4-06-521562-3

本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/03/28



横丁の戦後史～東京五輪で消えゆく路地裏の記憶～

フリート 横田 著

中央公論新社

横丁には庶民に活力を与える不思議な力がある。そんな「戦後」の呑み屋横丁が、東京五輪開催に際し、絶滅の危機に瀕している。路地徘徊家を自称する文筆家が、「みんな」で作った横丁の歴史を掘り起こす。

2020.12./ 293p

978-4-12-005368-9

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/03/28



白が 5 なら、黒は 3 (HAYAKAWA POCKET MYSTERY BOOKS 1964)

ジョン・ヴァーチャー 著

早川書房

黒人の血が流れていることを隠し、白人として生きるボビーと、白人至上主義の旧友アーロン。黒人青年への傷害事件を起こしたアーロンの逃走に、手を貸してしまい苦悩するボビーの前に、黒人である父が姿を現し…。

2021.2./ 245p

978-4-15-001964-8

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/03/28



季語の科学

尾池和夫 著

淡交社

四季折々の季語には、ひとと自然が共生するなかで伝えられてきた科学的な知が凝縮されている。時候・天文・地理・生活・行事・動物・植物についての 120 以上の様々な季語を、科学者の視点で明快に解説。

2021.2./ 295p

978-4-473-04458-7

本体 ¥2,090〔税込〕



産経新聞 2021/03/28



「違和感」の日本史(産経セレクト S-022)

本郷 和人 著

産経新聞出版

歴史は疑問に満ちている。江戸期の鎖国は?? 秀忠が天皇に激怒? 信長は英雄ではない? 東京大学史料編纂所の本郷教授が“威勢のいい学説”を疑う。『産経新聞』連載に加筆、再構成。

2021.3./ 269p

978-4-8191-1396-0

本体 ¥968〔税込〕



産経新聞 2021/03/28



北斎さんぽ〜江戸の名所を巡る〜

片山喜康 著
青幻舎

本所割下水(現・東京都墨田区)で生まれ、生涯に残した作品は約 3 万点と言われる北斎。代表作<富嶽三十六景>をはじめとした作品から、浅草、日本橋、両国、上野など、東京の歴史と魅力を再発見する。

産経新聞 2021/03/28

2021:3./ 143p
978-4-86152-833-0
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 1 5 2 8 3 3 0 *



拉致問題と日朝関係

村主 道美 著
集広舎

故郷、家族、奪還、主権といった日本国内で強調される観念のみならず、アメリカ等が敏感な価値観「普遍的な人権」も見据えながら、日本外交最大級の難問の構造を考察。この問題に世界が固執しなければならない理由を分析する。

産経新聞 2021/03/28

2021:2./ 477p
978-4-904213-95-7
本体 ¥4,950〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 4 2 1 3 9 5 7 *



「三代目」スタディーズ〜世代と系図から読む近代日本〜

鈴木 洋仁 著
青土社

なぜ日本社会では世代や世襲、家柄が問題となるのか。家族の系図から、政治家、お笑い芸人、文化人、天皇と元号まで。私たちが目の当たりにしている「三代目」という節目から、近代日本の潮目をとらえる。

産経新聞 2021/03/28、読売新聞 2021/03/28

2021:2./ 261p,9p
978-4-7917-7355-8
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 1 7 7 3 5 5 8 *



妖怪少年の日々〜アラマタ自伝〜

荒俣 宏 著
KADOKAWA

知の巨人・荒俣宏はいかにして形作られたか。海や虫やお化けと戯れた少年時代、幻想・怪奇文学に出会った学生時代、「世界大博物図鑑」を完成させた社会人時代…。人生の軌跡を網羅した自伝。『怪』『怪と幽』連載を加筆修正。

朝日新聞 2021/03/06

2021:1./ 467p
978-4-04-109699-4
本体 ¥2,970〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 9 6 9 9 4 *



蒼海館の殺人(講談社タイガ ア I-02)

阿津川 辰海 著
講談社

学校に來なくなった「名探偵」の葛城に会うため、僕は Y 村の青海館を訪れた。激しい雨が降り続くなか、連続殺人の幕が上がる。濁流押し寄せる館が沈めば、探偵も、犯人も、全員死ぬ。精美にして極上の本格ミステリ。

朝日新聞 2021/03/06

2021:2./ 631p
978-4-06-521207-3
本体 ¥1,210〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 1 2 0 7 3 *



新しい世界〜世界の賢人 16 人が語る未来〜(講談社現代新書 2601)

クーリエ・ジャポン 編
講談社

世界最高の知性と洞察力を兼ね備えた「21 世紀の賢人」たち 16 人が、それぞれの専門分野の立場から世界のいまを分析しつつ、「世界のこれから」について論じる。オンラインメディア『クーリエ・ジャポン』掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/03/06

2021:1./ 244p
978-4-06-522546-2
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 2 5 4 6 2 *



男が介護する～家族のケアの実態と支援の取り組み～(中公新書 2632)

津止 正敏 著

中央公論新社

かつて女性中心で行われてきた家族の介護。今では男性が担い手の 3 分の 1 を占めるが、問題は少なくない。悲喜こもごものケアの実態、介護する男性が集い、支え合う各地のコミュニティの活動を、豊富なエピソードを交えて紹介。

朝日新聞 2021/03/06

2021:2./ 7p,227p

978-4-12-102632-3

本体 ¥902〔税込〕



グローバル・ヒストリーとしての独仏戦争～ビスマルク外交を海から捉えなおす～(NHK ブックス 1267)

飯田 洋介 著

NHK出版

国際法をめぐる「鉄血宰相」の苦悩とは。プロイセンが圧勝したと記憶されている「普仏戦争」の裏で、ビスマルクが米国に対し、海軍力の不足を補うための交渉を仕掛け続けていたことを、史料を読み解きながら明らかにする。

朝日新聞 2021/03/06

2021:1./ 286p

978-4-14-091267-6

本体 ¥1,650〔税込〕



健康食大全～がん、認知症、生活習慣病は食事で防げる～

ウィリアム・リー 著

早川書房

がん、糖尿病、高血圧、脳卒中、認知症に効果あり! 病気から身体を守る機能を、医学のエビデンスにもとづく食事で最大まで働かせよう。「いつ、何を食べるべきか」の知識に加え、レシピと日々の実践法まで網羅する。

朝日新聞 2021/03/06

2021:2./ 606p

978-4-15-210005-4

本体 ¥3,740〔税込〕



世界一ポップな国際ニュースの授業(文春新書 1266)

藤原 帰一／石田 衣良 著

文藝春秋

アメリカ大統領選挙から、中東で第三次世界大戦が勃発する可能性、各国の映画にみる国民性まで、東大教授に直木賞作家が直球質問。世界の今のカタチが2時間でわかる、軽やかな国際情勢入門。

朝日新聞 2021/03/06

2021:1./ 245p

978-4-16-661266-6

本体 ¥935〔税込〕



震災復興と生きがいの社会学～<私的な問題>から捉える地域社会のこれから～

望月 美希 著

御茶の水書房

東日本大震災後の沿岸部農村のフィールドワークから、被災者の<生>を巡る復興課題である「生きがい」の問題に接近。被災地において、なぜ生きがいの問題が発生するのか、その問題にどう対処してきたのかを明らかにする。

朝日新聞 2021/03/06

2020:11./

30p,261p,6p

978-4-275-02132-8

本体 ¥8,580〔税込〕





伝染(うつ)る恐怖～感染ミステリー傑作選～(宝島社文庫 C せ-2-1)

千街 晶之 編

エドガー・アラン・ポオ／アーサー・コナン・ドイル／フリーマン／マーキー／西村 京太郎／皆川 博子／梓崎 優／水生 大海 著

宝島社

コレラ、ペスト、エボラ、コロナ…。『理知の文学』であるミステリーは、疫病をいかに描いてきたのか。コナン・ドイルから西村京太郎まで、古今東西の『感染症』にまつわる傑作短編 8 編を収録する。

2021:2./ 383p

978-4-299-01362-0

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



ウサギ

ジョン・マーズデン 著

河出書房新社

大勢のウサギが外からやって来て大陸に蔓延し、先住者は危機に追いやられていき…。オーストラリアの作家ジョン・マーズデンの文章と、ショーン・タン of 美しいイラストで語られる建国寓話譚。

2021:1./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-309-29124-6

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



パンデミックの倫理学～緊急時対応の倫理原則と新型コロナウイルス感染症～

広瀬 巖 著

勁草書房

人工呼吸器やワクチンは誰に優先するべきか? 個人の自由はどこまで制限してよいのか? WHO で倫理指針の作成に参加した哲学者が、コロナ禍で表面化した倫理的問題をどう考えるか、論理の筋道をわかりやすく示す。

2021:1./

10p,158p,12p

978-4-326-15470-8

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



震災と死者～東日本大震災・関東大震災・濃尾地震～(筑摩選書 0203)

北原 糸子 著

筑摩書房

東日本大震災から 10 年、死者はどう扱われてきたか。災害社会史家が、行政担当者らへの聞き取りなどからその過程を跡づけるとともに、関東大震災、濃尾地震に際し政府や社会が死者に対しどう対応してきたかを史料で検証する。

2021:1./ 311p

978-4-480-01721-5

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



ヨーロッパ冷戦史(ちくま新書 1550)

山本 健 著

筑摩書房

ヨーロッパはいかに 2 つの陣営に分断されたのか。ベルリンの壁崩壊から、なぜ分断が一挙に統合へと向かったのか。ドイツ問題を軸に、東西間の対立と緊張緩和の過程を描き、冷戦の国際政治力学を浮き彫りにする。

2021:2./ 486p,24p

978-4-480-07373-0

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



憐れみをなす者<上>(創元推理文庫 修道女フィデルマ Mト6-17 [8-1])

ピーター・トレメイン 著

東京創元社

巡礼船から修道女が消えた。時化で海に落ちたものと思われたが、その後船室から血のついた衣がみつかり…。7世紀アイルランドを舞台に、王の妹にして弁護士、美貌の修道女フィデルマが活躍するシリーズ第8弾。

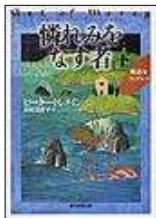
2021.2./ 276p

978-4-488-21823-2

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



憐れみをなす者<下>(創元推理文庫 修道女フィデルマ Mト6-18 [8-2])

ピーター・トレメイン 著

東京創元社

船長から捜査の全権を委任され、聞き込みを開始したフィデルマ。だが船に乗っている巡礼者たちは奇矯な人物ばかり。被害者をめぐり様々な感情が渦巻いていた。フィデルマは到着までに、犯人を見つけることができるのか？

2021.2./ 310p

978-4-488-21824-9

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



世界で楽しんでいる50の園芸植物図鑑〜イギリス王立園芸協会版〜

ジェイミー・バターワース 著

原書房

ガーデニングの成功への鍵は、場所に合った正しい植物を選ぶこと。多年生植物から低木、果物と野菜、観葉植物まで、育てやすい50の植物を紹介。栽培に適した場所や世話の仕方などを、美しい写真を添えて簡潔にまとめる。

2021.2./ 224p

978-4-562-05888-4

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



平日休みの堀出さん(Action Comics)

小坂 俊史 著

双葉社

家電量販店勤めの夫と看護師の妻は、なかなか休みが合わない。だからこそ、たまに休みが合ったときは全力で楽しみつくすのが二人のルール。昼夜逆転キャンプに20時間耐久カラオケ、果ては南北大横断まで？ 夫婦の(ちょっとおかしい方向に)パワフルな休日から目が離せない！

2021.2./ 112p

978-4-575-94582-9

本体 ¥899〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



古典籍の世界を旅する〜お宝発掘の目利きの力〜(平凡社新書 964)

八木 正自 著

平凡社

文学的にも歴史的にも価値のある、日本古典籍の世界へいざなう一冊。奈良時代から明治時代にかけての貴重な史料との、偶然の出会いやオークションによる落札など、長年古書業界に携わる著者が体験したエピソードの数々を紹介。

2021.1./ 229p

978-4-582-85964-5

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



日常生活に埋め込まれたマイクロアグレッション～人種、ジェンダー、性的指向 : マイノリティに向けられる無意識の差別～

デラルド・ウイン・スー 著

明石書店

「あからさまな」差別と対比され、あいまいな、無意識で見えにくい重大な結果をもたらす差別を「マイクロアグレッション」として位置付け、内容、メカニズム、影響、対処法を解説する。

2020.12./ 492p
978-4-7503-5117-9
本体 ¥3,850〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



無意識のバイアス～人はなぜ人種差別をするのか～

ジェニファー・エバーハート 著

明石書店

悪意の有無に関係なく存在する偏見、バイアス。それはいかんにして脳に刻まれ、他者に伝染し、ステレオタイプを形作っているのか。米国の学校・企業・警察署の改革に努める心理学者が、無意識の現実を解く。

2020.12./ 373p
978-4-7503-5123-0
本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



「がもよんモデル」の秘密～空き家再生でみんなが稼げる地元をつくる～

和田 欣也／中川 寛子 著

学芸出版社

空き家活用の先進地として注目を集める大阪市城東区蒲生 4 丁目、通称「がもよん」。適度な耐震改修、有望な店舗の誘致、飲食業態による収益確保、地主との協働など、皆が稼げるまちの仕組みを仕掛け人が明かす。

2021.2./ 190p
978-4-7615-2761-7
本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



つながりが生み出すイノベーション～サードセクターと創発する地域～

菅野 拓 著

ナカニシヤ出版

震災復興の過程で、大きな役割を果たしたサードセクターだが、対応状況には地域差も見られた。そのようなイノベーションを生み出すメカニズムは何か。何が地域差をもたらすのか。詳細な調査と歴史研究から明らかにする。

2020.6./ 11p,377p
978-4-7795-1483-8
本体 ¥4,180〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



故郷喪失と再生への時間～新潟県への原発避難と支援の社会学～

松井 克浩 著

東信堂

3.11 から 6 年。多くの避難者を受け入れてきた新潟県での避難生活と支援の経過をたどりながら、災害を生き延びることと社会や地域の役割を考えることを、相互に不可分のものとして捉え直す。

2017.8./ 6p,286p
978-4-7989-1437-4
本体 ¥3,520〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



科学探偵シャーロック・ホームズ

J オブライエン 著

東京化学同人

指紋や犬の嗅覚など、現実の警察や FBI に先駆けて犯罪捜査に科学を取り入れたシャーロック・ホームズ。彼は幅広い科学の知識をもち、化学者でもあった。シャーロック・ホームズが科学をキーワードに物語を読み解く。

2021.1./ 8p,295p,15p
978-4-8079-0983-4
本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06



こども SDGs～なぜ SDGs が必要なのがわかる本～

バウンド 著

カンゼン

このままでは地球があぶない。未来のために考えるべきことは。世界のさまざまな問題とそれを解決するために定められた SDGs を簡単に説明し、私たちが SDGs についてどう考え、どう行動するべきかを紹介する。

朝日新聞 2021/03/06

2020/7./ 127p

978-4-86255-561-8

本体 ¥1,430〔税込〕



楽しい雪の結晶観察図鑑

武田 康男 著

緑書房

ひとつとして同じ形のない雪の結晶。「雪の結晶のグローバル分類」を用いて日本で見られる雪の結晶 16 種を取り上げ、写真とともにその造形と魅力を紹介する。雪の結晶のつくりとしくみや、観察・撮影方法、コラムも収録。

朝日新聞 2021/03/06

2020/12./ 142p

978-4-89531-580-7

本体 ¥2,090〔税込〕



外套

ゴーゴリ、児島 宏子、ユーリー・ノルシュテイン、フランチェスカ・ヤールブソヴァ 著

未知谷

ゴーゴリ晩年の傑作「外套」の新しい解釈による新訳。アニメーション化に取り組んで四半世紀という映像の詩人ノルシュテイン原案の絵コンテ100余点を挿絵に得て、装いを新たにした古典。

朝日新聞 2021/03/06

2009/5./ 158p

978-4-89642-263-4

本体 ¥2,750〔税込〕



つくるをひらく

光嶋裕介 著

ミシマ社

創作・ものづくりを第一線でつづけるために。ドローイングを描く建築家・光嶋裕介が、「空間を身体で思考する」というテーマで 5 名の表現者と対話した記録と、対話の余韻に浸りながら考えたプロセスをまとめる。

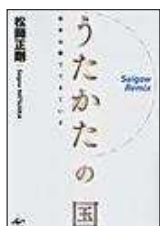
朝日新聞 2021/03/06

2021/1./ 219p 図版 5

枚

978-4-909394-46-0

本体 ¥2,200〔税込〕



うたかたの国～日本は歌でできている～(Seigow Remix)

松岡 正剛 著

工作舎

物語も、日記も、茶の湯も、?風絵も、信心も、国学も、日本はいつも歌とともにあった。記紀万葉から J-POP まで、松岡日本歌謡論をリミックス。日本の文化を歌で辿る。

朝日新聞 2021/03/06、東京・中日新聞 2021/03/21

2021/1./ 425p

978-4-87502-524-5

本体 ¥1,980〔税込〕



東日本大震災～3.11 生と死のはざままで～

金田 諦應 著

春秋社

崩壊、生と死、再生、そして復興へ…。東日本大震災から 10 年。被災地支援に活躍した傾聴移動喫茶「カフェ・デ・モンク」のマスターが、大震災のすべてを語る。

朝日新聞 2021/03/06、読売新聞 2021/03/07

2021/1./ 5p,322p

978-4-393-49538-4

本体 ¥1,980〔税込〕





国際法の誕生～ヨーロッパ国際法からの転換～

中井 愛子 著

京都大学学術出版会

かつて欧州国際法と同一であった国際法の認識論は、いかにして変容したのか。米州でも特にラテンアメリカの旧欧州植民地独立にさかのぼって追究し、スポットライトを浴びなかった実質的起源を明らかにする。

2020.12./ 16p,607p

978-4-8140-0258-0

本体 ¥6,490〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06、読売新聞 2021/03/07



日々翻訳さんげ～エンタメ翻訳この四十年～

田口 俊樹 著

本の雑誌社

訳書 200 冊の名翻訳家が、自身の訳書を読み直し、翻訳人生最大の危機からチャンドラー新訳での大発見まで、40 年におよぶ翻訳稼業を振り返る。翻訳者ネットワーク『アメリカ』連載を書籍化。

2021.3./ 213p

978-4-86011-455-8

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/03/06、日本経済新聞 2021/03/27



感染症とワクチンについて専門家の父に聞いてみた

さーたり／中山 哲夫 著

KADOKAWA

ウイルスって結局何なの？ 外科医で漫画家・3 児の母であるさーたりが、ウイルス学の専門家である父へ単刀直入に聞いてみた！ 漫画でわかりやすくひも解く「感染症とワクチン物語」。

2020.11./ 125p

978-4-04-064996-2

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



現代民主主義思想と歴史(講談社選書メチエ 740)

権左 武志 著

講談社

なぜ民主主義は繰り返し独裁を生み出してしまうのか。フランス革命から2つの大戦、冷戦を経て、自国第一主義が吹き荒れる現在まで、民主主義とその双子ともいふべきナショナリズム 230 年の激動を骨太に描き出す。

2020.12./ 288p

978-4-06-522044-3

本体 ¥2,035〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



文字渦(新潮文庫 え-24-2)

円城 塔 著

新潮社

始皇帝の陵墓づくりに始まり、道教、仏教、分子生物学、情報科学を縦横に、変化を続ける「文字」を主役として繰り広げられる連作集。小説の新たな地平を拓いた 12 編。

2021.2./ 417p

978-4-10-125772-3

本体 ¥781〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



盤上の向日葵<上>(中公文庫 ゆ 6-1)

柚月 裕子 著

中央公論新社

平成 6 年、身元不明の白骨死体が発見される。遺留品は名匠の将棋駒。刑事の石破と佐野は駒の足取りを追って日本各地に飛ぶ。折しも将棋界では、実業界から転身した異端の天才棋士・上条桂介が世紀の一戦に挑もうとしていた…。

2020.9./ 342p

978-4-12-206940-4

本体 ¥770〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



盤上の向日葵<下>(中公文庫 ゆ 6-2)

柚月 裕子 著

中央公論新社

昭和 55 年、棋士への夢を断った上条桂介は、駒打つ音に誘われて将棋道場に足を踏み入れる。そこで出会ったのは、伝説の真剣師・東明重慶だった。死体遺棄事件の捜査線上に、桂介と東明の壮絶すぎる歩みが浮かび上がり…。

2020/9./ 322p

978-4-12-206941-1

本体 ¥748〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



片隅の人たち(中公文庫 と 37-1)

常盤 新平 著

中央公論新社

植草甚一、都筑道夫、清水俊二…。1960 年代、翻訳出版の世界では個性豊かな面々が闊歩していた。直木賞作家が若き日に会った翻訳者の姿を描く自伝的連作集。関連エッセイ 2 篇を加えて文庫化。

2021/1./ 260p

978-4-12-207020-2

本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



10 年後の福島からあなたへ

武藤 類子 著

大月書店

自然とともに生きる生活の豊かさと、それを奪われた悲しみ、分断されていく故郷への思い。福島第一原発事故の責任を問う運動の先頭に立ってきた著者が、10 年にわたり綴った福島の実像。

2021/2./ 154p,4p

978-4-272-33101-7

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



現代アートを殺さないために～ソフトな恐怖政治と表現の自由～

小崎 哲哉 著

河出書房新社

“黄金の便器”作品をめぐるアメリカ大統領と美術館との対決、あいちトリエンナーレ問題、ウィルスと現代アート…。分断の時代の「文化戦争」に終わりは来るのか? 「政治とアート」に勃発する様々な問題をえぐり出す。

2021/1./ 384p,18p

978-4-309-25664-1

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



血湧き肉躍る任?映画

永田 哲朗 著

国書刊行会

昭和の男達を魅了した任?映画 900 本。源流から爛熟期まで、名優から極悪非道を演じた名悪役まで、とびきり面白い任?映画の魅力を語り尽くす。『月刊実話ドキュメント』連載「銀幕?客伝」を書籍化。

2021/1./ 564p

978-4-336-06562-9

本体 ¥5,280〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



?介石の書簡外交～日中戦争、もう一つの戦場～<上巻>

麻田 雅文 著

人文書院

独伊への接近、スターリンへの愛憎、アメリカの支援、ノモンハン事件、そして世界大戦へ…。?介石と連合国の首脳との往復書簡を分析し、戦時下の?介石の外交と、米英ソの対華政策を再考する。

2021/1./ 254p

978-4-409-51088-9

本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



?介石の書簡外交～日中戦争、もう一つの戦場～<下巻>

麻田 雅文 著

人文書院

ガンディーとアジアの独立、ローズヴェルトの死去、ビルマ、インパールから日本の敗戦、そして国共内戦へ…。?介石と連合国の首脳との往復書簡を分析し、戦時下の?介石の外交と、米英ソの対華政策を再考する。

2021.1./ 254p

978-4-409-51089-6

本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



新型コロナとワクチン知らない和不都合な真実(日経プレミアシリーズ 450)

峰 宗太郎／山中 浩之 著

日本経済新聞出版社

新型コロナを冷静に、淡々と迎え撃とう。「知らない和不都合」なウイルス、ワクチンの知識に絞り、ウイルス免疫学の専門家と素人の対話を通して、自分の頭で考える手がかりを提供する。『日経ビジネス電子版』掲載を加筆。

2020.12./ 279p

978-4-532-26450-5

本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



ワクチン・レース～ウイルス感染症と戦った、科学者、政治家、そして犠牲者たち～(PEAK books PB04)

メレディス・ウッドマン 著

羊土社

20 世紀の金字塔、風疹ワクチン開発。ブレークスルーとなった発見、データ蓄積に貢献した名もなき人々、エビデンスだけでは動かない社会実装…。1960 年代の風疹対策を巡る真実を、当事者たちの証言をもとに描く。

2020.10./ 539p,90p

978-4-7581-1213-0

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



2.5 次元文化論～舞台・キャラクター・ファンダム～

須川 亜紀子 著

青弓社

アニメ・マンガ・ゲームの虚構世界を現実世界に再現して、虚構と現実のあいまいな境界を楽しむ文化実践である 2.5 次元文化。その歴史や特徴、魅力、ファン共同体のあり様を描く。『WEB 青い弓』連載を大幅に加筆修正。

2021.1./ 277p

978-4-7872-3480-3

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



中高生のための本の読み方～読書案内・ブックトーク・PISA 型読解～

大橋 崇行 著

ひつじ書房

ブックトークのやり方にしがって、小説から解説書、マンガまで、中高生向けにさまざまな本を紹介。読書会やブックトークのやり方、国語の学びとの関係なども解説。ウェブマガジン『未草』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

2021.1./ 223p

978-4-8234-1027-7

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



私たちは学術会議の任命拒否問題に抗議する(論創ノンフィクション 008)

人文社会系学協会連合連絡会 編

論創社

日本学術会議とは何か。任命拒否とは、どういうことなのか。日本学術会議の任命拒否問題を憂慮した人文・社会科学系諸分野の約 20 人が、素朴な疑問に答えながら、抗議声明を提示する。

2021.2./ 231p

978-4-8460-2021-7

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/03/13



ワクチンいかに決断するか～1976 年米国リスク管理の教訓～

リチャード・E・ニュースタット／ハーヴェイ・V・ファインバーグ 著

藤原書店

1976 年にアメリカで起きた、公衆衛生行政における一大事件について、行政内部の意思決定の過程を詳細に検証した報告書をベースに、さらにこの出来事を将来への教訓として生かすための工夫を加えて解説する。

朝日新聞 2021/03/13

2021:2./ 464p

978-4-86578-300-1

本体 ¥3,960〔税込〕



おのがデモンに聞け～小野塚・吉野・南原・丸山・京極の政治学～

都築 勉 著

吉田書店

20 世紀になって創設された専門分野である日本の政治学の 5 人の政治学者たち(小野塚喜平次、吉野作造、南原繁、丸山眞男、京極純一)の学問的業績をつぶさに検討する。

朝日新聞 2021/03/13

2021:1./ 383p

978-4-905497-91-2

本体 ¥2,970〔税込〕



神保町「ガロ編集室」界限(ちくま文庫 た 38-3)

高野 慎三 著

筑摩書房

1960 年代末、マンガ、映画、演劇、アート、さまざまな表現分野で変革の波が起きていた。その中心にあった『月刊漫画ガロ』編集部に在籍した著者が綴る熱き記録。『まんだらけ ZENBU』連載をもとにした文庫オリジナル。

朝日新聞 2021/03/13、日本経済新聞 2021/03/20

2021:2./ 310p

978-4-480-43716-7

本体 ¥990〔税込〕



学問の自由が危ない～日本学術会議問題の深層～

佐藤 学／上野 千鶴子／内田 樹 著

晶文社

菅首相による日本学術会議会員への任命拒否問題。その背景に何があるか、学術会議はなぜ必要か、学問の自由の重要性とは何か。学術関係者が学問の自由と民主主義をめぐる編んだ白熱の論考集。任命拒否 6 人のメッセージも収録。

朝日新聞 2021/03/13、毎日新聞 2021/03/13

2021:1./ 302p

978-4-7949-7250-7

本体 ¥1,870〔税込〕



アウンサンスーチーのビルマ～民主化と国民和解への道～(岩波現代全書 051)

根本 敬 著

岩波書店

かつてビルマ軍政が最も恐れたアウンサンスーチー。長期にわたる自宅軟禁、暗殺の危機、そして夫との死別…。それでも彼女はビルマの民主化と国民和解への希望を捨てることはなかった。不屈の女性の思想の本質に迫る。

朝日新聞 2021/03/20

2015:1./ 7p,187p,15p

978-4-00-029151-4

本体 ¥2,090〔税込〕



プライバシーという権利～個人情報なぜ守られるべきか～(岩波新書 新赤版 1868)

宮下 紘 著

岩波書店

冷静に個人情報保護と向き合うには。プライバシー権の規範的意義を自覚しつつ、国内外の立法や判例の動向をフォローしながら、実証的にプライバシーの権利の法的性格を明らかにする。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 11p,208p

978-4-00-431868-2

本体 ¥880〔税込〕





「低度」外国人材～移民焼き畑国家、日本～

安田 峰俊 著

KADOKAWA

学歴・年収が低く、日本語はろくに喋れず専門知識もない、非熟練労働に従事している「低度」外国人材。3年に亘り、中国、ベトナム、日本各地を回り、絶対的な弱者でも敵でもない、彼らの生身の姿に迫ったディープリポ。

2021.3./260p

978-4-04-106968-4

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/03/20



室町もののけ草紙(集英社文庫 歴史時代 い67-3)

岩井 三四二 著

集英社

室町後期、応仁の乱前後。時代が大きく変貌するとき、転機を迎えた人物は何を見て何を思ったのか。悪女と称された日野富子を始め、将軍から庶民まで、人々の胸の内に迫る歴史連作短編集。室町の世のリアルを体感できる一冊。

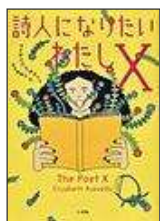
2021.2./338p

978-4-08-744214-4

本体 ¥880〔税込〕



朝日新聞 2021/03/20



詩人になりたいわたし X

エリザベス・アセヴェド 著

小学館

ハーレムで暮らす15歳の少女・シオマラは、厳しい母親に猛反発していたが、高校のポエトリー・スラム部で詩のパフォーマンスを知り、自己表現の世界にのめり込んでいく。全編を詩で描く、家族と恋と友情の物語。

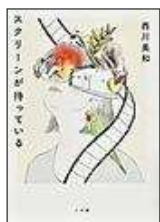
2021.1./423p

978-4-09-290588-7

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/03/20



スクリーンが待っている

西川 美和 著

小学館

ああ、世界は奇跡に満ちていたんだな。映画監督・西川美和が2021年2月公開の作品「すばらしき世界」に挑んだ5年間の軌跡を綴る。『STORY BOX』連載に短編小説「蕎麦屋ケンちゃん失踪事件」等を加え単行本化。

2021.1./283p

978-4-09-388808-0

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/03/20



蟹工船・党生活者 改版(新潮文庫)

小林 多喜二 著

新潮社

朝日新聞 2021/03/20

2003.6./281p

978-4-10-108401-5

本体 ¥440〔税込〕



「スパコン富岳」後の日本～科学技術立国は復活できるか～(中公新書ラクレ 723)

小林 雅一 著

中央公論新社

スパコン世界一・富岳の真の実力とは? 新技術はどんな未来社会をもたらすのか? 開発者や最前線の研究者などに取材し、米中ハイテク覇権競争下における日本の戦略や、スパコンをしのぐ量子コンピュータ開発の行方を展望。

2021.3./221p

978-4-12-150723-5

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/03/20



ミャンマーの体制転換と農村の社会経済史～1986-2019 年～

高橋 昭雄 著
東京大学出版会

30 年以上にわたって著者が調査してきた農村の社会経済の変容を中心に、現代ミャンマー農業・農村の経済史を辿る。また「村落共同体の不在」をテーマに、30 年変わらないミャンマー農村の社会的特質を明らかにする。

朝日新聞 2021/03/20

2021:3./ 3p,295p
978-4-13-040296-5
本体 ¥7,480〔税込〕



元彼の遺言状

新川 帆立 著
宝島社

「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残して、大手製薬会社の御曹司が亡くなった。学生時代に彼と交際していた弁護士の剣持麗子は、「犯人選考会」に参加し、依頼人を犯人に仕立て上げようと奔走するが...

朝日新聞 2021/03/20

2021:1./ 331p
978-4-299-01236-4
本体 ¥1,540〔税込〕



コロナ対策各国リーダーたちの通信簿(光文社新書 1108)

栗田 路子、プラド 夏樹、田口 理穂 著
光文社

新型コロナウイルスのパンデミックで、各国リーダーの指導力とコミュニケーション力が大いに試されることになった。海外に居住する日本人ジャーナリストたちが、リーダーの発言と市民の反応をまとめる。

朝日新聞 2021/03/20

2021:1./ 305p
978-4-334-04516-6
本体 ¥1,144〔税込〕



新選組颯爽録(光文社文庫 か 53-4)

門井 慶喜 著
光文社

剣ではなく人を自在に操った土方歳三。生真面目な能吏、尾形俊太郎。若き天才剣士、沖田総司。若き隊士たちを、時に爽やかに、時に伶俐に、そして時に凄惨に描く。単行本未収録短編「戦いを避ける」を追加。

朝日新聞 2021/03/20

2018:4./ 416p
978-4-334-77641-1
本体 ¥792〔税込〕



新選組の料理人(光文社文庫 光文社時代小説文庫 か 53-5)

門井 慶喜 著
光文社

京の大火で長屋を焼かれ、妻子ともはぐれた浪人・菅沼鉢四郎は、ふとしたきっかけで、剣を握らぬ「賄方」として新選組に入隊することに。菅沼は隊士の暮らしや愛憎、組織の矛盾を間近で目にしていく...

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 373p
978-4-334-79160-5
本体 ¥792〔税込〕



女性たちが見ている 10 年後の消費社会～市場の 8 割を左右する「女性視点マーケティング」～(DO BOOKS)

日野佳恵子 著
同文館出版

「モノからコトへ」「コトから意味へ」「意味から意義へ」。女性視点マーケティングが教えてくれる次世代につながる消費キーワードを解説。ワークマン、スーパーストックトーカーなどの事例も多数紹介する。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 334p
978-4-495-54078-4
本体 ¥2,750〔税込〕





ウマの博物図鑑

デビー・バズビー／カトリン・ラトランド 著
原書房

5500 万年をかけて進化してきた種であるウマの生物学的特徴・行動・多様性を、あま
すところなく探究。300 におよぶ豊富な図版、画像や図表、美しい写真も収録する。

朝日新聞 2021/03/20

2021:1./ 224p

978-4-562-05871-6

本体 ¥3,520〔税込〕



東電原発事故 10 年で明らかになったこと(平凡社新書 966)

添田 孝史 著

平凡社

福島第一原子力発電所事故発生から 10 年。史上最悪の事故は、誰が引き起こした
のか。直後から真相を追ってきた科学ジャーナリストが、膨大な事故調査報告書や
裁判記録をもとに、事故の深層、被害と裁判の現状を活写する。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 231p

978-4-582-85966-9

本体 ¥924〔税込〕



かたわらに～沢田英男彫刻作品集～

沢田 英男 著

亜紀書房

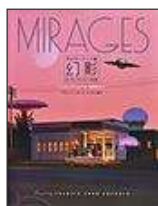
美術館に収まるものでもなく、街の大きなモニュメントでもない。部屋に置いたり、とき
には旅にも連れていける。そんなかたわらに置ける彫刻もあっていい。大胆さと繊細
さをあわせ持つ、才気溢れた彫刻家の初作品集。

朝日新聞 2021/03/20

2021:3./ 127p

978-4-7505-1571-7

本体 ¥2,860〔税込〕



ポスターアート集 幻影～ローラン・デュリュウの世界～

ローラン・デュリュウ 著

グラフィック社

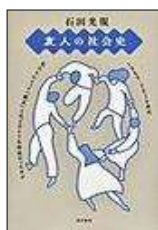
ベルギーのイラストレーター、ローラン・デュリュウのこれまでのポスター・アート創作の
歩みを展望できる作品集。「ジョーズ」「めまい」など代名詞といえる作品群のほか、未
発表作品も多数収録。

朝日新聞 2021/03/20

2021:1./ 225p

978-4-7661-3439-1

本体 ¥4,290〔税込〕



友人の社会史～1980-2010 年代私たちにとって「親友」とはどのような存在だったのか～

石田 光規 著

晃洋書房

身近な存在か、理想化された幻想か。私たちにとって「親友」とはどのような存在だっ
たのか? 1980?2010 年代の新聞記事に表れた「親友」分析を通じて、「友人関係」に向
けられた社会の目線を読み解く。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 7p,208p,4p

978-4-7710-3432-7

本体 ¥2,640〔税込〕



ヒップホップ・モンゴリア～韻がつむぐ人類学～

島村 一平 著

青土社

伝統文化とヒップホップの文化的連続性、ヒップホップとディアスポラ問題…。現代モ
ンゴル社会とヒップホップのラッパーたちとの関係の中で織りなされてきた世界-ヒッ
ポップ・モンゴリアを描く、異色の人類学ドキュメント。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 421p

978-4-7917-7351-0

本体 ¥2,860〔税込〕





難読漢字の奥義書

円満字 二郎 著

草思社

「白膠木」「特牛」「破落戸」「窈窕」全部読めますか？さまざまな難読漢字を取り上げ、その背景に見え隠れする漢字のしくみやその移り変わり、先人たちが漢字を使いこなすために編み出した知恵などを紹介します。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 241p,13p

978-4-7942-2505-4

本体 ¥1,650〔税込〕



オルフェウス変幻～ヨーロッパ文学にみる変容と変遷～

沓掛 良彦 著

京都大学学術出版会

オルフェウスが亡き妻を求めて冥界に降りていった話は有名だが、その原話はどのように誕生し、伝承のなかで変容・変遷していったのか。古代ギリシアから近代にいたる文学を渉猟し、伝説的な詩人の姿を跡づける。

朝日新聞 2021/03/20

2021:1./ 3p,553p

978-4-8140-0307-5

本体 ¥5,940〔税込〕



まばたき(torch comics)

リイド社

タバコ屋のおばあちゃん、ひとりぼっちの転校生、旅先で出会った女の子...あれは、恋だったんだ。女同士の繊細な感情を描く短編集。

朝日新聞 2021/03/20

2021:2./ 220p

978-4-8458-6075-3

本体 ¥880〔税込〕



寺田寅彦『物理学序説』を読む

細谷 暁夫 著

窮理舎

自然を観察し、実験装置を工夫し、新境地を拓いた物理学者・寺田寅彦。物理学の方法論について体系だった思想を記した未完の書「物理学序説」を附録・後書と共に収録し、その内容を読み解く。文学者・千葉俊二との対談も掲載。

朝日新聞 2021/03/20

2020:12./ 7p,300p

978-4-908941-24-5

本体 ¥3,520〔税込〕



いつかたこぶねになる日～漢詩の手帖～

小津 夜景 著

素粒社

杜甫や李賀、白居易といった古典から、新井白石や夏目漱石など日本の漢詩人たちの作品、中国近代の詩人まで、フランス在住の俳人・小津夜景が、漢詩のある日々の暮らしをつづる。『ウラハイ』他掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/03/20

2020:11./ 267p

978-4-910413-00-6

本体 ¥1,980〔税込〕



利休の死～戦国時代小説集～(中公文庫 い 37-7)

井上 靖 著

中央公論新社

天正 10 年(1582)、武田が滅び、信長は本能寺で倒れ、それに代わった光秀が討たれ、天下は秀吉の手中へと動き出す。桶狭間の戦いから天目山の戦い、利休の死まで、戦国乱世の 30 年を 11 篇の短篇で描いた小説集。

朝日新聞 2021/03/20、読売新聞 2021/03/21

2021:1./ 292p

978-4-12-207012-7

本体 ¥946〔税込〕





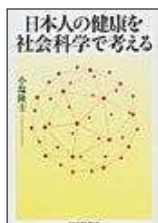
台湾、あるいは孤立無援の島の思想～民主主義とナショナリズムのディレンマを越えて～

呉 叡人 著
みすず書房

構造的に<賤民>であることを強いられてきた台湾。多元・民主・平等に基づくナショナリズムを梃子として、孤立無援の境遇からの脱出を探る。政治学者による 20 年におよぶ思想的格闘の集成。

2021.1./ 4p,452p
978-4-622-08974-2
本体 ¥4,950〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 9 7 4 2 *

朝日新聞 2021/03/20、日本経済新聞 2021/03/20



日本人の健康を社会科学で考える

小塩 隆士 著

日本経済新聞出版社

学歴が健康格差を決める？ 教育、社会保障、医療・健康、厚生の実証分析で定評のある著者が、社会的な要因によって大きく左右される日本人の健康の実態を明らかにし、健康に関わる社会問題を解決するための処方箋を提示する。

2021.1./ 347p
978-4-532-35874-7
本体 ¥2,640〔税込〕
* 9 7 8 4 5 3 2 3 5 8 7 4 7 *

朝日新聞 2021/03/20、日本経済新聞 2021/03/27



出版と権力～講談社と野間家の一〇〇年～

魚住 昭 著

講談社

日本の出版の草創期にも転換期にも、彼らの姿があった…。未公開資料を駆使し、近代出版 150 年を彩る多彩な人物群像のなかに、野間家の人びとを位置づけて描く。講談社ウェブサイト『現代ビジネス』連載を改稿し単行本化。

2021.2./ 669p
978-4-06-512938-8
本体 ¥3,850〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 1 2 9 3 8 8 *

朝日新聞 2021/03/20、毎日新聞 2021/03/27



金融老年学の基本から学ぶ、認知症からあなたと家族の財産を守る方法～国富 215 兆円クライシス～(星海社新書 175)

木下 翔太郎 著

星海社

令和日本最大の問題「認知症と財産」。打開策は新しい学問「金融老年学」にあり！ 気鋭の元内閣府官僚にして現役医師が、認知症とお金の問題やその解決策について詳しく解説する。

2021.2./ 183p
978-4-06-522528-8
本体 ¥1,210〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 2 5 2 8 8 *

朝日新聞 2021/03/20、毎日新聞 2021/03/27



ターシャの農場の 12 カ月

ターシャ・テューダー、ないとう りえこ 著

KADOKAWA

若い母親ターシャ・テューダーは、ニューハンプシャー州の田舎に見つけた“小径の向こうの家”で、自給自足の暮らしを始め…。ターシャと夫、4 人の子どもの農場での 12 カ月を、美しい絵と文で描く。

2014.3./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-04-066396-8
本体 ¥1,430〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 0 6 6 3 9 6 8 *

朝日新聞 2021/03/27



絵本作家ターシャ・テューダー

内藤 里永子 著

KADOKAWA

処女絵本「パンプキン・ムーンシャイン」を 23 歳で出版してから 92 歳で亡くなるまで、生涯現役だった絵本作家ターシャ・テューダーの仕事を、初期・中期・後期に分けて紹介します。絵本・挿絵作品年譜付き。

2014.11./ 158p
978-4-04-067147-5
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 0 6 7 1 4 7 5 *

朝日新聞 2021/03/27



大杉栄伝〜永遠のアナキズム〜(角川ソフィア文庫 II61-1)

栗原 康 著
KADOKAWA

米騒動、ストライキ、民衆芸術論…。破天荒な生き方というだけでは語りつくせない、大杉栄の思想に光をあてた評伝。暗い時代に乱れ咲く生の軌跡をたどる。略年譜、人物解説・索引付き。文庫版あとがきも収録。

2021:2./ 362p,48p

978-4-04-400335-7

本体 ¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



限りなく繊細でワイルドな森の生活

内藤 里永子 著
KADOKAWA

大切な人たちを亡くし、絶望したわたしは、標高千メートルの森の古家に 60 代半ばから 10 年間、隠れ住んだ。ところが、森にはおかしな事件がいつぱい起こって…。自然界のいのちと共に生きる喜びを綴るレジリエンスエッセイ。

2021:2./ 169p

978-4-04-680315-3

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



おねぼうさんはだあれ?

片山 令子 著
学研プラス

うさぎのミナちゃんが、冬ごもりからなかなか起きてこない友だちを起こしに出かけます。ミナちゃんは、おねぼうさんの枕もとに、春の花の花束をおいていって…。春の訪れを温かい筆致で描いた絵本。

2021:2./ 32p

978-4-05-204874-6

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



土葬の村(講談社現代新書 2606)

高橋 繁行 著
講談社

近い将来、日本の墓地から完全に消滅するであろう土葬。30 年にわたる土葬の村の調査記録をはじめ、野焼き火葬の村、風葬の聖地・与論島の風習、土葬や野辺送りの怪談・奇譚について書き記す。

2021:2./ 312p

978-4-06-522544-8

本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



明石家さんまの歴史<1>「明石家さんま」の誕生

エムカク 著
新潮社

「国民的芸人」明石家さんまの“歴史”を克明に記録。1 は、誕生から少年時代、落語界入門、大恋愛、大阪でのブレイク、「ひょうきん族」のスタートまでを収録。メールマガジン『水道橋博士のメルマガ旬報』連載を書籍化。

2020:11./ 428p

978-4-10-353781-6

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



恋するアダム(CREST BOOKS)

イアン・マキューアン 著
新潮社

独身男のチャーリーは最新型アンドロイドのアダムを購入した。アダムの AI 能力を利用して、チャーリーは美しい女子学生ミランダと恋仲になる。だが、アンドロイドのアダムが彼女に恋心を抱き始めて…。

2021:1./ 399p

978-4-10-590171-4

本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



世界は善に満ちている～トマス・アキナス哲学講義～(新潮選書)

山本 芳久 著

新潮社

どんなネガティブな感情も、論理で丁寧に解きほぐすと、その根源には「愛」が見いだせる。中世哲学の最高峰「神学大全」の感情論を、学生と教師の対話形式でわかりやすく解説し、自己と世界を共に肯定して生きる道を示す。

2021.1./ 316p

978-4-10-603861-7

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



藝人春秋<3> 死ぬのは奴らだ(文春文庫 す 20-3)

水道橋博士 著

文藝春秋

武井壮と寺門ジモンの最強の座をかけた激闘、やしきたかじんの思い出と生放送降板事件の真相、岡村靖幸との幸福な登山…。濃厚な藝人たちを描き尽くし、人生賛歌を謳いあげた、渾身のルポエッセイ。

2021.3./ 427p

978-4-16-791667-1

本体 ¥935〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



禁忌習俗事典～タブーの民俗学手帳～(河出文庫 や 27-2)

柳田 国男 著

河出書房新社

血不浄、瓢箪送り、地獄蝶々、夜爪など、「忌」に関する言葉をジャンル別に網羅し徹底的に解説した、全集未収録の風俗・風習事典。日本人の根底に迫る画期の書。

2021.3./ 199p

978-4-309-41804-9

本体 ¥990〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



国家とは何か、或いは人間について～怒りと記憶の憲法学～

遠藤 比呂通 著

勁草書房

対話が継続される社会的地位としての市民権こそ人権だという「幻」-。「個人的記憶のなかに想起しつづける集合的記憶」を鍵に、「幻」の実現に焦点をあわせて新たな光を紡ぎ出す。「人権という幻」の続編。

2021.2./ 3p,242p

978-4-326-45124-1

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



おじいちゃんのたびじたく(世界の絵本コレクション)

ソ・ヨン 著

小峰書店

ある日、静かなおじいちゃんのうちにやってきたお客さま。ほわほわ白いお客さまは、明かりをもって、旅のお供にきてくれました。おじいちゃんは大喜びで、旅の支度を始め…。見返しにイラストあり。

2021.2./ 36p

978-4-338-12659-5

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



マンガ認知症(ちくま新書 1500)

ニコ・ニコルソン、佐藤 眞一 著

筑摩書房

「お金を盗られた」と言うのはなぜ? 突然怒りはじめるのはどうして? 認知症の人の心の中をマンガを交えてわかりやすく解説する。読めば心がラクになる、現代人の必読書。『web ちくま』連載を新書化。

2020.6./ 286p

978-4-480-07322-8

本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



きみのいた森で(海外ミステリーBOX)

ピート・ハウトマン 著

評論社

大好きなおじいちゃんを亡くしたスチュイ。エリー・ローズという親友ができて、やっと元気をとりもどした。毎日のように森で遊んでいたが、ある日、エリー・ローズの姿がぼやけて、そのまま消えてしまい…。

2021:1./ 342p

978-4-566-02431-1

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



トマス・アキナス肯定の哲学

山本 芳久 著

慶應義塾大学出版会

キリスト教の教義に基づいた抽象的概念を駆使する、難解な神学者として解されてきたトマス・アキナス。神学的枠組みを超え、トマスが<感情>を徹底的に分析し、独自の<人間論>を構築していることを明らかにする。

2014:9./ 6p,257p,10p

978-4-7664-2171-2

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



森田峠全句集

森田 峠 著

ふらんす堂

冬空やキリンは青き草くはへ 森田峠の既刊句集「避暑散歩」「三角屋根」「逆瀬川」など十句集に補遺を加えた、全 4737 句を収録。句集解題、略年譜、初句索引、季語索引つき。

2021:3./ 483p

978-4-7814-1344-0

本体 ¥11,000〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



何はなくとも三木のり平〜父の背中越しに見た戦後東京喜劇〜

戸田 学 編

小林 のりー 著

青土社

役者で演出家で、とびっきり上等な喜劇人、三木のり平。日本喜劇人協会設立、明治座公演、中村翫右衛門との共演、「桃屋」CM など、その通史を息子が語る。公演の上演録音が視聴できる QR コード付き。

2020:9./ 427p

978-4-7917-7308-4

本体 ¥2,860〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



一夜だけの詩遊び

谷川 俊太郎、内藤 里永子 著

メディアファクトリー

「食卓」「魂の記憶」など 11 のお題で、谷川俊太郎と内藤里永子が自作詩を朗読した一夜だけの詩遊びを収録。この詩遊びのための谷川俊太郎の新作「ことばのかくれんぼ」も掲載。

2011:10./ 131p

978-4-8401-4275-5

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/03/27



生態学者の目のツケドコロ〜生きものと環境の関係を、一歩引いたところから考えてみた〜

伊勢 武史 著
ベレ出版

生態学とは、生物とそれを取り巻く環境の相互作用を考える学問分野。生態系や外来生物、生物進化、生物多様性、環境問題など、世界的に関心が高まっている話題を取り上げ、やさしい文章でわかりやすく生態学の考え方を紹介。

2021:1./ 242p
978-4-86064-642-4
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 0 6 4 6 4 2 4 *

朝日新聞 2021/03/27



龍宮〜照井翠句集〜 文庫新装版

照井 翠 著
コールサク社

双子なら同じ死に顔桃の花 朧夜の首が体と呼んでをり 死の川の底に緑の差し初めぬ 釜石市で東日本大震災に遭遇し被災した著者が、津波により無念の死を遂げた人々へ鎮魂の思いを込めて編んだ第5句集。

2021:1./ 263p
978-4-86435-463-9
本体 ¥1,100〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 4 3 5 4 6 3 9 *

朝日新聞 2021/03/27



学校、行かなくやいけないの?〜これからの不登校ガイド〜(14歳の世渡り術)

雨宮 処凛 著
河出書房新社

学校に行かなくても、選択肢は意外にたくさんある。フリースクール、学習支援、心の専門家…。学校から遠ざかった人々、学校のあり方に疑問を持って独自の取り組みを始めた人々にインタビューし、多くの選択肢と実践を紹介。

2021:1./ 211p
978-4-309-61728-2
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 6 1 7 2 8 2 *

東京・中日新聞 2021/03/07



ワンダフル・ライフ

丸山 正樹 著
光文社

事故で重度の障害を負った妻を自宅で介護する「わたし」。なんのために、こんな生活が続いているのか…。「わたし」の物語と、さまざまな悩みを抱える男女の物語が絡み合い、?がるとき、慟哭の真実が明かされる。

2021:1./ 316p
978-4-334-91384-7
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 3 3 4 9 1 3 8 4 7 *

東京・中日新聞 2021/03/07



監獄の回想

アレキサンダー・バークマン 著
ばる出版

18歳でアメリカに渡ったロシア生まれの著者。製鉄所での争議で労働者が殺害され、報復のため工場責任者の命を狙うが失敗し…。14年余りに渡る入獄中の記録。囚人との友情等を通して精神的に成長していく著者の内面を記す。

2020:12./ 8p,558p
978-4-8272-1116-0
本体 ¥3,080〔税込〕
* 9 7 8 4 8 2 7 2 1 1 1 6 0 *

東京・中日新聞 2021/03/07



猫がこなくなった

保坂 和志 著
文藝春秋

高平君がうちに来て、涙ながらにこなくなった猫の話をはじめた。聞けば聞くほど私が外で世話していたキャシーそっくりで…。忘れがたい猫達や風景、書物をめぐる9つの短篇を収録。『文藝春秋』ほか掲載を書籍化。

2021:1./ 242p
978-4-16-391314-8
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 3 1 4 8 *

東京・中日新聞 2021/03/07、毎日新聞 2021/03/27



人之彼岸(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5051)

? 景芳 著

早川書房

人類は人工知能とともにいかに生きるのか? どんな病人も?のように回復させてしまう
と評判の病院の謎を追う男を描いた「不死医院」など、AIをめぐる6つの短篇とエッセ
イ2篇を収録。

東京・中日新聞 2021/03/14

2021.1./ 380p

978-4-15-335051-9

本体 ¥1,980〔税込〕



ヘーゼルの密書～The Peace Feelers～

上田 早夕里 著

光文社

激化する日中の対立関係。新たな大戦へと着実に向かう中、それでも戦争を回避す
べく、日中和平工作にすべてをかけた人々がいた…。幻の和平交渉に光を当てた長
編歴史小説。『小説宝石』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2021/03/14

2021.1./ 322p

978-4-334-91382-3

本体 ¥1,980〔税込〕



鬼才～伝説の編集人齋藤十一～

森 功 著

幻冬舎

『週刊新潮』『フォーカス』等を創刊。雑誌ジャーナリズムの生みの親にして、太宰治、
松本清張ら大作家に畏怖された新潮社の天皇-。稀代の天才編集者・齋藤十一の足
跡を追う。『サンデー毎日』連載に加筆修正し単行本化。

東京・中日新聞 2021/03/14

2021.1./ 323p

978-4-344-03728-1

本体 ¥1,980〔税込〕



がんばってるのになぜ僕らは豊かになれないのか

井上 純一 著

KADOKAWA

野菜が高い、銀行の利子が低い、不景気で店がつぶれる…。なんで日本はこうなっ
た? 身近な経済の疑問を、コミックエッセイとともにわかりやすく解説する。『カドブンノ
ベル』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2021/03/20

2021.3./ 156p

978-4-04-110994-6

本体 ¥1,210〔税込〕



戦後経済史の群像～日本資本主義はいかに捉えられたか～

野原 慎司 著

白水社

日本資本主義論争、そして大塚史学以後、日本の資本主義はいかに論じられたか?
経済学史の戦後の名著を取り上げつつ、その背景およびその後焦点を当てること
で、戦後とは何だったのかを当事者の視点から振り返る。

東京・中日新聞 2021/03/20

2020.12./ 202p, 15p

978-4-560-09817-2

本体 ¥2,420〔税込〕



見るレッスン～映画史特別講義～(光文社新書 1107)

蓮實 重彦 著

光文社

映画を見る際に重要なのは、異質なものに晒され、葛藤すること。シネマの生き字引
がサイレント、ドキュメンタリー、ヌーベル・バーグから現代まで 120 年を超える歴史を
案内。作品の最も優れた瞬間で刮目する方法を指南する。

東京・中日新聞 2021/03/21

2020.12./ 203p

978-4-334-04515-9

本体 ¥902〔税込〕





高校生のための人物に学ぶ日本の政治経済史(シリーズ・16 歳からの教養講座 2)

猪木 武徳 編

ミネルヴァ書房

日本を代表する碩学が、未来を担う高校生に向け、日本の政治経済の近代化に貢献した福沢諭吉、原敬ら 6 人の人物を語り、彼らは直面した難局でいかに考え、どう乗り切っていたのかを探る。「ゲーテの会」講演等を基に書籍化。

2020.12./ 9p,185p,6p

978-4-623-08968-0

本体 ¥2,640〔税込〕



東京・中日新聞 2021/03/21



平成・令和学生たちの社会運動〜SEALDs、民青、過激派、独自グループ〜(光文社新書 1113)

小林 哲夫 著

光文社

2010 年代、学生による社会運動はどのように繰り広げられたのか。SEALDs、「未来のための公共」、日本民主青年同盟、新左翼党派などに参加した学生たちが、実名で運動体験を語る。

2021.1./ 434p

978-4-334-04521-0

本体 ¥1,210〔税込〕



東京・中日新聞 2021/03/28



この国の「公共」はどこへゆく

寺脇 研／前川 喜平／吉原 毅 著

花伝社

現代における「公共」とはなにか？ 個の分断がますます煽られる 21 世紀、「みんなの場所」はどこへ消えたのか？ 公共圏を編み直すためのヒントを探る、寺脇研、前川喜平、吉原毅による超・自由鼎談。

2020.12./ 273p

978-4-7634-0949-2

本体 ¥1,870〔税込〕



東京・中日新聞 2021/03/28



なぜ戦争をえがくのか〜戦争を知らない表現者たちの歴史実践〜

大川 史織／小泉 明郎／諏訪 敦／武田 一義／高村 亮／遠藤 薫／寺尾 紗穂／土門 蘭／柳下 恭平／後藤 悠樹／小田原 のどか／畑澤 聖悟／庭田 杏珠／渡邊 英徳 著

みずき書林

写真、絵画、小説、漫画、映像、音楽、演劇、工芸、彫刻、アプリなど、多彩な表現で歴史実践をしている表現者たちにインタビュー。どのように思考をめぐらせ、ことばを選び、なぜ戦争をえがこうとしているのかを聞く。

2021.1./ 318p

978-4-909710-15-4

本体 ¥2,200〔税込〕



東京・中日新聞 2021/03/28



英語独習法(岩波新書 新赤版 1860)

今井 むつみ 著

岩波書店

英語の達人をめざすなら高い語彙力が不可欠。オンラインツールを利用した合理的な実践的勉強法を紹介する。2018 年度の NHK ラジオ講座「入門ビジネス英語」のテキストに掲載したエッセイを再編成し、大幅に加筆したもの。

2020.12./ 8p,271p

978-4-00-431860-6

本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



私の夢まで、会いに来てくれた〜3・11 亡き人とのそれから〜(朝日文庫 と14-1)

東北学院大学震災の記録プロジェクト 編

朝日新聞出版

東日本大震災で大切な人を亡くした遺族は、どのような夢を見て、何を思い過ごしているのだろうか。東北の大学生たちが、「被災者遺族が見る亡き人の夢」をテーマに調査をした記録集。

2021:2./ 260p

978-4-02-262047-7

本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



廃炉〜「敗北の現場」で働く誇り〜

稲泉 連 著

新潮社

東日本大震災から10年。福島第一原発では40年かかる廃炉作業が今日も続く。数多の困難を乗り越える技術者、福島からの異動を拒む官僚、東電を選んだ新入社員…。「未曾有の現場」を支える人々の熱き想いを紡ぐ。

2021:2./ 253p

978-4-10-332092-0

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



『細雪』とその時代

川本 三郎 著

中央公論新社

ほぼ同時代に書かれた永井荷風の「東綺譚」と時に対比させながら、阪神間を舞台としつつも、大阪の男の世界から離れた女性たちの物語として、「細雪」の世界を訪ね歩く。『中央公論』連載に加筆・修正。

2020:12./ 302p

978-4-12-005350-4

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



自由の限界〜世界の知性 21 人が問う国家と民主主義〜(中公新書ラクレ 715)

鶴原 徹也 編

中央公論新社

世界はディストピアへと向かうのか、人類は信頼できる存在か。エマニュエル・トッド、ジャック・アタリなど、世界を代表する知性 21 人のインタビューを収録する。『読売新聞』掲載を書籍化。

2021:1./ 318p

978-4-12-150715-0

本体 ¥968〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



犬が星見た〜ロシア旅行〜 新版(中公文庫 た15-9)

武田 百合子 著

中央公論新社

生涯最後の旅と予感している夫・武田泰淳とその友人、竹内好とのロシア旅行。星に驚く犬のような心と天真爛漫な目を以て、旅中の出来事、風物、ふたりの文学者の旅の肖像を、克明に、伸びやかに綴る。竹内好のエッセイも収録。

2018:10./ 416p

978-4-12-206651-9

本体 ¥990〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



江戸落語事始 たらふくつてん(中公文庫 お82-4)

奥山 景布子 著

中央公論新社

喜怒哀楽がしみこんだ人情味たっぷりの土から、「咄」という芽が次々顔を出す。江戸を笑わせた絶体絶命の男、鹿野武左衛門。「江戸落語の始祖」といわれた男の謎と波瀾に満ちた半生を描く長篇小説。

2021:1./ 353p

978-4-12-207014-1

本体 ¥858〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



津波の霊たち〜3・11 死と生の物語〜(ハヤカワ文庫 NF 569)

リチャード・ロイド・パリー 著

早川書房

英国人ジャーナリストは、東日本大震災発生直後から被災地に続き、宮城県石巻市立大川小学校の事故の遺族たちと出会う。取材は相次ぐ「幽霊」の目撃情報と重なり。「黒い迷宮」の著者による迫真のルポ。

読売新聞 2021/03/07

2021:1./ 443p

978-4-15-050569-1

本体 ¥1,122〔税込〕



日本にとって最大の危機とは?〜情熱の外交官 岡本行夫最後の講演録〜

岡本 行夫 著

文藝春秋

新型コロナウイルスにより急逝した名物外交官が、日米、日中、日朝関係などを豊富な知識と深い洞察をもって語った、2017?2019 年の講演をテーマごとにまとめる。

読売新聞 2021/03/07

2021:1./ 214p

978-4-16-391323-0

本体 ¥1,430〔税込〕



洋画家の美術史(光文社新書 1109)

ナカムラ クニオ 著

光文社

有名なのに実はよく知らない日本の「洋画」の世界。藤田嗣治、岸田劉生、東郷青児ら 16 人の画家たちの波瀾万丈な一生を追いかけてながら、作品と近代美術史の流れをわかりやすく解説する。カラー図版も多数収録。

読売新聞 2021/03/07

2021:1./ 240p

978-4-334-04517-3

本体 ¥1,232〔税込〕



城郭考古学の冒険(幻冬舎新書 せ-4-1)

千田 嘉博 著

幻冬舎

織田信長・明智光秀・松永久秀らの城づくりからわかる天下統一と戦国大名の実像、石垣・堀・門の見方、世界の城との意外な共通点…。「城」を資料として歴史を研究する城郭考古学の成果とその可能性を第一人者が語りつくす。

読売新聞 2021/03/07

2021:1./ 297p

978-4-344-98611-4

本体 ¥1,034〔税込〕



名作椅子の解体新書〜見えない部分にこそ技術がある。名作たる理由が、分解する、?がず、組み立てる、張り替えることで見えてくる!〜

西川 栄明／坂本 茂 著

誠文堂新光社

ザ・チェアなど名作椅子や、フィン・ユールなど著名デザイナーの椅子 18 脚の解体(分解)や組み立てを行い、部材、接合方法、座編み工程などを写真で詳細に解説。各椅子の特徴や構造、デザイナーの思いを探る。

読売新聞 2021/03/07

2020:12./ 206p

978-4-416-52104-5

本体 ¥3,520〔税込〕



定年入門〜イキイキしなくちゃダメですか〜(ポプラ新書 202)

高橋 秀実 著

ポプラ社

「定年」っていったい何? 生涯現役を促す本も多いけれど、本当はみんな定年に対してどんな思いを抱いているのだろう? 独特の視点を持つノンフィクション作家が定年後の人々に取材した「定年本」。

読売新聞 2021/03/07

2021:1./ 306p

978-4-591-16892-9

本体 ¥1,056〔税込〕





津波とクジラとペンギンと～東日本大震災 10 年、牡鹿半島・鮎川の地域文化～

加藤 幸治 著

社会評論社

三陸海岸の南端、牡鹿半島・鮎川の民俗誌。東日本大震災からの復興まちづくり、高台移転などによる地域景観の変化、商業捕鯨再開という転機...。「被災地」という濁いた語感とはかけ離れた、生活の営みを浮き彫りにする。

2021.1./ 304p

978-4-7845-1750-3

本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



春を待つ海～福島震災前後の漁業民俗～

川島 秀一 著

富山房インターナショナル

東日本大震災・福島原発事故から 10 年。福島県新地町の漁師の以前の生活と、震災後の動向とは。日本の文化と伝統を調査してきた民俗学者が、漁師と共に暮らし漁業に携わりながら、海と人間の生活、自然のなかの人間を考える。

2021.2./ 254p

978-4-86600-091-6

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



ゼアゼア

トミー オレンジ 著

五月書房新社

歌い、語り、失い、探し、歩き、踊り、倒れ、生き延びる。狩猟の経験もなく、テント生活の経験もない、カリフォルニア州オークランドに生きる 12 人の「都市インディアン」たちの物語。ジャケット袖に人物相関図あり。

2020.12./ 374p

978-4-909542-31-1

本体 ¥2,530〔税込〕



読売新聞 2021/03/07



戦前尖端語辞典

平山 亜佐子／山田 参助 著

左右社

イージー・マーク、コンパル、ゲシュペンシュテル、客本主義、ありのすさび組...。大正 8 年から昭和 15 年までに発行された流行語辞典から 285 語を採録し、当時の辞典の語釈、著者による解説、用例を掲載する。

2021.1./ 207p

978-4-86528-011-1

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/03/07、東京・中日新聞 2021/03/28



言葉をもみほぐす

赤坂 憲雄／藤原 辰史／新井 卓 著

岩波書店

民俗学と歴史学。各々の専門分野からの越境を厭わず、知力をふり絞り、言葉をもみほぐし、思索を交わした、赤坂憲雄と藤原辰史の 2019 年から 2020 年にかけての手紙 18 通を収録。『図書』連載に銀板写真を加えて書籍化。

2021.2./ 7p,164p

978-4-00-022975-3

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



真夜中の子供たち<上>(岩波文庫 37-206-1)

サルマン・ラシュディ 著

岩波書店

1947 年 8 月 15 日、インド独立の日の真夜中に、不思議な能力とともに生まれた子供たち。なかでも 0 時ちょうどに生まれたサリームの運命は、革命、戦争、そして祖国の歴史と分かちがたく結びつき。

2020.5./ 537p

978-4-00-372514-6

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



真夜中の子供たち<下>(岩波文庫 37-206-2)

サルマン・ラシュディ 著

岩波書店

ついに露顕した出生の秘密。禁断の愛を抱えつつ、<清浄>の国との境をさまよう<真夜中の子供>サリームは…。稀代のストーリーテラーが紡ぎだす、あまりに魅惑的な物語。

読売新聞 2021/03/14

2020/6./ 549p

978-4-00-372515-3

本体 ¥1,320〔税込〕



同調圧力～日本社会はなぜ息苦しいのか～(講談社現代新書 2579)

鴻上 尚史／佐藤 直樹 著

講談社

なぜ命令も補償もないのに自粛をするのか。なぜ上司が帰らないと帰りにくいのか。新型コロナが炙り出した世間という名の「闇」に、作家・演出家の鴻上尚史と評論家・佐藤直樹が迫る。

読売新聞 2021/03/14

2020/8./ 180p

978-4-06-520662-1

本体 ¥924〔税込〕



小説上杉鷹山(集英社文庫)

童門 冬二 著

集英社

読売新聞 2021/03/14

1996/12./ 684p

978-4-08-748546-2

本体 ¥1,375〔税込〕



オーバ! 完全復刻版

開高 健 著

集英社

作家・開高健、生誕 90 周年。ブラジル・アマゾンに幻の巨魚と驚異を追った、2 カ月に及ぶ“オーバ!”な旅の記録。迫力ある写真と開高健の文章が織りなす、ノンフィクション紀行の金字塔。折り込みの写真ページあり。

読売新聞 2021/03/14

2021/1./ 209p

978-4-08-781697-6

本体 ¥8,800〔税込〕



燃えよ剣<上> 改版(新潮文庫 し 9-8)

司馬 遼太郎 著

新潮社

幕末の動乱期を新選組副長として剣に生き剣に死んだ男、土方歳三の華麗なまでに頑な生涯を描く。武州石田村の百姓の子“バラガキのトシ”は、生来の喧嘩好きと組織作りの天性によって、浪人や百姓上りの寄せ集めにすぎなかった新選組を、当時最強の人間集団へと作りあげ、己れも思い及ばなかった波紋を日本の歴史に投じてゆく。「竜馬がゆく」と並び、“幕末もの”の頂点をなす長編。

読売新聞 2021/03/14

1972/5./ 576p

978-4-10-115208-0

本体 ¥935〔税込〕



燃えよ剣<下> 改版(新潮文庫 し 9-9)

司馬 遼太郎 著

新潮社

元治元年六月の池田屋事件以来、京都に血の雨が降るところ、必ず土方歳三の振るう大業物和泉守兼定があった。新選組のもっとも得意な日々であった。やがて鳥羽伏見の戦いが始まり、薩長の大砲に白刃でいどんだ新選組は無残に破れ、朝敵となって江戸へ逃げのびる。しかし、剣に憑かれた歳三は、剣に導かれるように会津若松へ、函館五稜郭へと戊辰の戦場を血で染めてゆく。

読売新聞 2021/03/14

2007/1./ 553p

978-4-10-115209-7

本体 ¥935〔税込〕





架空の犬と?をつく猫(中公文庫 て 11-1)

寺地 はるな 著

中央公論新社

羽猫家は 6 人家族。変なのは名字だけでなく、それぞれがちよっと変わった?をつくこと。羽猫家長男の山吹が大人になり、みんなの<?>が解かれたとき、本当の家族の姿が見えてくる。?をつき続けた家族の素敵な物語。

読売新聞 2021/03/14

2020.12./ 271p

978-4-12-207006-6

本体 ¥726〔税込〕



江戸東京名所事典～古地図で辿る歴史と文化～

笠間書院編集部 編

笠間書院

天保年間に出版された江戸のガイドブック「江戸名所図会」所収の名所旧跡、神社仏閣を中心に、江戸時代の名所を「江戸切絵図」で辿りながら楽しめる事典。江戸東京中心部・中央部・東部など、5つの地域に分けて解説する。

読売新聞 2021/03/14

2020.12./ 377p

978-4-305-70935-6

本体 ¥2,530〔税込〕



これからの哲学入門～未来を捨てて生きよ～

岸見 一郎 著

幻冬舎

「私」とは、「生きる」とは、「愛する」とは-。アドラー、プラトン、デカルトなど、古今東西の哲学者の言葉を“負ける哲学者”岸見一郎が、咀嚼し再構築。最も古くて最も新しい生き方、考え方を伝える。

読売新聞 2021/03/14

2020.12./ 266p

978-4-344-03730-4

本体 ¥1,320〔税込〕



ロンドン謎解き結婚相談所(創元推理文庫 Mモ9-1)

アリスン・モントクレア 著

東京創元社

戦後ロンドン。スパイ活動のスキルを持つアイリスと、人の内面を見抜く鋭い目を持つグウェン。2人が営む結婚相談所で、若い美女に誠実な青年を紹介した矢先、女性が殺され、青年が逮捕される。2人は真犯人捜しに乗りだし...

読売新聞 2021/03/14

2021.2./ 462p

978-4-488-13409-9

本体 ¥1,320〔税込〕



アーカイヴズ～記録の保存・管理の歴史と実践～(文庫クセジュ 1042)

ブリュノ・ガラシ 著

白水社

何らかの活動の一環として作成・保管された記録群、アーカイヴズ。その起源、歴史、使命、機関、収蔵資料、教育制度、業務内容、現代の課題などを概説する。記録管理に携わる人、利用する人のための入門書。

読売新聞 2021/03/14

2021.2./ 148p,4p

978-4-560-51042-1

本体 ¥1,320〔税込〕



面白くて眠れなくなる植物学(PHP文庫 い101-1)

稲垣 栄洋 著

PHP研究所

植物のダ・ヴィンチ・コード、花占いの必勝法、トリケラトプスの衰退と植物の進化、カラフルなトウモロコシの謎...。不思議に満ちた植物の世界をのぞき見てみよう! 読みだしたらとまらないすごい植物のはなしが満載。

読売新聞 2021/03/14

2021.2./ 221p

978-4-569-90104-6

本体 ¥814〔税込〕





アマルティア・センの思想～政治的リアリズムからの批判的考察～

ローレンス・ハミルトン 著

みすず書房

アマルティア・センの想定する<自由で独立したマスメディア>とはどのように実現できるのか。<実効的な力としての自由>とはどのような政治体で可能なのか。センの思想のエッセンスを抽出し、政治理論の文脈で捉えなおす。

2021.1./ 8p,257p,23p

978-4-622-08969-8

本体 ¥4,620〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



KOBE BRYANT THE MAMBA MENTALITY～HOW I PLAY～

コービー・ブライアント 著

イースト・プレス

バスケットボール界のレジェンド、コービー・ブライアントの核心に迫る。師と仰ぐ人物や、いかにケガや痛みを克服し、敗北を拒み続けたかなどを自らの言葉で語るほか、彼の内面の修練の過程を描き出す秀逸な写真も多数収録。

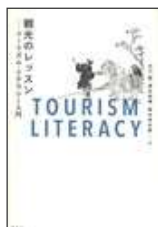
2019.3./ 207p

978-4-7816-1767-1

本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



観光のレッスン～ツーリズム・リテラシー入門～

山口 誠／須永 和博／鈴木 涼太郎 著

新曜社

観光する技能を高めていくことができれば、新たな世界と出会うことができる。観光にリテラシーという考え方を導入することで、文化的活動としての観光の可能性を探究。「自由への技能」としての観光について考察する。

2021.2./ 6p,179p

978-4-7885-1706-6

本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



いとしの<ロotten>映画たち～映画批評サイト「Rotten Tomatoes」がおすすめする名作カルト、過小評価された傑作、ひどすぎてイケてる映画たち～

ロッテントマト編集部 編

ポール・フェイグ 著

竹書房

怪物級にヒットした批評家の嫌われ者、ひどすぎてかえってイケてる珠玉の SF 映画、すばらしく風変わりな名作カルト…。映画批評サイト『Rotten Tomatoes』チームが映画 101 本を熱く激しく語りたおす。

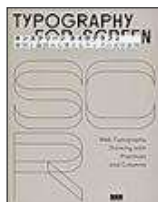
2021.1./ 246p

978-4-8019-2532-8

本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



オンスクリーンタイポグラフィ～事例と論説から考えるウェブの文字表現～

伊藤 庄平／佐藤 好彦 著

ビーエヌエヌ新社

パソコンやスマートフォンの画面上の美しく読みやすい文字組みについて、80 事例を取り上げて現状と課題を考察。「グリッドと本文組み」「Web フォントの変遷」などをテーマにした 9 編の論考を収録。

2021.2./ 191p

978-4-8025-1207-7

本体 ¥3,300〔税込〕



読売新聞 2021/03/14



スナックキズツキ

益田ミリ 著
マガジンハウス

都会の路地裏でひっそり営むスナックがある。今宵も疲れた人がふらり立ち寄る。アルコール以外、だいたいある、ちょっと風変わりなスナック。くたくたな夜に、ほっと一息つきませんか。益田ミリの描き下ろしコミック。

読売新聞 2021/03/14

2021.1./ 215p
978-4-8387-3138-1
本体 ¥1,430〔税込〕
* 9 7 8 4 8 3 8 7 3 1 3 8 1 *



魚食から文化を知る～ユダヤ教、キリスト教、イスラム文化と日本～

平川 敬治 著
鳥影社

キリスト教が生まれたのは、魚食の地だった。日本人に馴染み深い魚食から世界を知ろう！ 魚と、人の宗教・文化形成との関係という新しい観点から世界を考察する。写真も多数掲載。

読売新聞 2021/03/14

2021.1./ 184p
978-4-86265-852-4
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 2 6 5 8 5 2 4 *



誰も知らなかったジャイアント馬場

市瀬英俊 著
朝日新聞出版

運命的なプロレス入りと師・力道山、17歳と15歳で出会った最愛の妻・元子との結婚までのさまざまな障壁。ジャイアント馬場とその妻・馬場元子の往復書簡などの一次資料をもとに、ジャイアント馬場の真実を描く。

読売新聞 2021/03/14、東京・中日新聞 2021/03/21

2021.2./ 333p
978-4-02-251740-1
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 7 4 0 1 *



フランクリン・ローズヴェルト～大恐慌と大戦に挑んだ指導者～(中公新書 2626)

佐藤 千登勢 著
中央公論新社

フランクリン・ローズヴェルトは大恐慌と第二次世界大戦という未曾有の危機に直面した大統領である。彼はいかんにして20世紀を代表する指導者となったか。妻エレンアとの人間模様も交え、生涯を活写する。

読売新聞 2021/03/14、日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 5p,271p
978-4-12-102626-2
本体 ¥968〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 2 6 2 *



和算～江戸の数学文化～(中公選書 114)

小川 東 著
中央公論新社

17世紀半ばから中国の影響を脱して独自の発展を遂げた日本の数学。関孝和ら世界レベルの高等数学から、趣味として数学を楽しむ庶民の算額奉納まで、江戸に花開いた豊かな数学文化を最新の研究に基づいて繙く。

読売新聞 2021/03/14、日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 333p
978-4-12-110114-3
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 1 0 1 1 4 3 *



ゼロエフ

古川 日出男 著
講談社

話を聞きたい。被災地360kmを歩き抜いた。報道からこぼれ落ちる現実を目にした。ひたすらに考えた。福島で生まれ育った小説家が、故郷に全身で向き合ったノンフィクション。『群像』掲載に書下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2021/03/14、毎日新聞 2021/03/20

2021.3./ 332p
978-4-06-522793-0
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 2 7 9 3 0 *



AIの雑談力(角川新書 K-347)

東中 竜一郎 著

KADOKAWA

機械に感情を教え、個性を宿らせる。対話 AI 研究の第一人者が最前線をレポート。人間と雑談を行う AI=雑談 AI がどのように考え、どのように応答しているのか、そのメカニズムを具体的なエピソードを交えて紹介する。

読売新聞 2021/03/21

2021.2./ 263p

978-4-04-082306-5

本体 ¥990〔税込〕



「民都」大阪対「帝都」東京～思想としての関西私鉄～(講談社学術文庫 2631)

原 武史 著

講談社

東京をも凌駕した、「民衆の都」大阪。だが、大正から昭和への転換、昭和天皇行幸を機に、大阪の街は次第に「帝都」へと変質してゆく…。鉄道と天皇という視座から日本近代の思想史的断面を描く。

読売新聞 2021/03/21

2020.10./ 305p

978-4-06-521274-5

本体 ¥1,331〔税込〕



マザリング～現代の母なる場所～

中村 佑子 著

集英社

子のいる人もいない人も、世代や性別を超え、他者の揺らぐ命に寄り添うことができた。妊娠出産期の経験をすくいあげ、ケアをめぐる普遍的思考を紡ぐ。『すばる』連載を改題・加筆し書籍化。

読売新聞 2021/03/21

2020.12./ 309p

978-4-08-771734-1

本体 ¥2,420〔税込〕



イワン・デニーソヴィチの一日 改版(新潮文庫)

ソルジェニーツィン、木村 浩 著

新潮社

読売新聞 2021/03/21

2005.11./ 278p

978-4-10-213201-2

本体 ¥572〔税込〕



南北戦争～アメリカを二つに裂いた内戦～

小川 寛大 著

中央公論新社

アメリカが経験した唯一の内戦、南北戦争はなぜ生じ、いかなる展開を見せたのか。政治家や軍人の動き、戦場の様子などを活写し、アメリカに色濃く残る人種差別思想の淵源である南北戦争を初学者に向けてわかりやすく解説する。

読売新聞 2021/03/21

2020.12./ 7p,207p

978-4-12-005370-2

本体 ¥1,980〔税込〕



コロナ後の教育へ～オックスフォードからの提唱～(中公新書ラクレ 708)

荻谷 剛彦 著

中央公論新社

日本型教育改革の習性、入試改革、人文科学の可能性、「未来の教室」からみえるものの…。教育改革を前提から問い直してきた論客が、コロナ後の教育像を提言する。2016?2020 年に発表した論考を加筆し書籍化。

読売新聞 2021/03/21

2020.12./ 254p

978-4-12-150708-2

本体 ¥946〔税込〕





漢文で知る中国～名言が教える人生の知恵～

加藤 徹 著

NHK出版

心を内側から支える不変の名文句から、人間関係の要諦、混迷の時代を生きるヒントを知る。漢文の名言が生まれた歴史とエピソードを紹介する。NHK テキスト「テレビで中国語」の連載を加筆修正。

2021.1./ 237p

978-4-14-081850-3

本体 ¥1,870〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



瑠璃の契り(徳間文庫 旗師・冬狐堂 き 16-64)

北森 鴻 著

徳間書店

孤高の骨董商・宇佐見陶子。目利きの命である眼を患った彼女の元に、同業者がわけありの品を持ち込む。それは昭和を代表する作家の逸品でありながら、三度も返品された和人形で…。古美術ミステリー全4篇。

2021.2./ 284p

978-4-19-894625-8

本体 ¥748〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



僕らは風に吹かれて

河邊徹 著

星雲社

大丈夫。僕は今、誰かに必要とされている。音を鳴らせ。生きてんだから-。SNS の時代に音を奏でる意味を言葉にした“純正バンド小説”。『ステキブンゲイ』掲載を加筆し書籍化。

2021.3./ 314p

978-4-434-28591-2

本体 ¥1,386〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



はたらかないで、たらふく食べたい～「生の負債」からの解放宣言～ 増補版 (ちくま文庫 く30-2)

栗原 康 著

筑摩書房

伊藤野枝、幸徳秋水、徳川吉宗、一遍上人…。あまたの思想、歴史、芸術から今を生き抜く新しい論理を構築しつつ、合コンも恋愛もあきらめない、非労働系男子研究者のたたかひの日々の記録。50 ページ分増補し文庫化。

2021.2./ 278p

978-4-480-43720-4

本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



この地獄の片隅に～パワードスーツ SF 傑作選～(創元 SF 文庫 SF ン10-2)

J・J・アダムズ 編

東京創元社

パワードスーツ、強化アーマー、二足歩行メカ。アレスティア・レナルズ、ジャック・キャンベルら豪華執筆陣が古今の SF を彩ってきたコンセプトをテーマに描く、全12編の書き下ろし SF アンソロジー。加藤直之の扉絵付き。

2021.3./ 393p

978-4-488-77202-4

本体 ¥1,210〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



権威主義～独裁政治の歴史と変貌～

エリカ・フランツ 著

白水社

なぜ、権威主義や独裁政治は存在し続けるのか。権威主義政治の分野での主要な理念や知見、議論を概観し、なぜそれが重要か理由を明確にしつつ、最先端の研究も紹介。理論が現実役に役立つよう、世界中の実例を示し議論を補う。

2021.2./ 201p,32p

978-4-560-09821-9

本体 ¥2,750〔税込〕



読売新聞 2021/03/21



日本の盲点(PHP 新書 1247)

開沼 博 著

PHP研究所

危機は脆弱な部分に破滅をもたらし、脆弱でない部分を焼け太りさせる。社会学者が3・11からコロナ禍まで、大転換の10年を振り返り、見過ごされた問題を指摘する、『Voice』連載を新書化。

読売新聞 2021/03/21

2021:3./ 254p

978-4-569-84855-6

本体 ¥1,023〔税込〕



図解はじめて学ぶみんなのビジネス

晶文社

大丈夫、ビジネスに向き不向きなんてない。「物を作って、売る」というビジネスの基本と、それを取りまく社会のしくみ、自分で会社を作るための方法を、豊富なイラストでいきいきと解説する。

読売新聞 2021/03/21

2021:2./ 127p

978-4-7949-7154-8

本体 ¥1,980〔税込〕



「させていただく」の語用論〜人はなぜ使いたくなるのか〜

椎名 美智 著

ひつじ書房

とどまるところを知らない「させていただく」の氾濫。なぜ人は使ってしまう、何ゆえ違和感が生まれるのか。歴史的経緯を辿り、意識調査とコーパス調査に基づいて、許容と違和の境界を探る。

読売新聞 2021/03/21

2021:1./ 12p,289p

978-4-8234-1056-7

本体 ¥3,960〔税込〕



日本の美しい町並

森田 敏隆 著

光村推古書院

宿場町、城下町、港町、農村…。日本特有の風情ある表情をみせる町並の美しい風景を収めた写真集。文化庁の重要伝統的建造物群保存地区を中心に 56 の町並を収録し、簡素な説明とその英訳を付す。

読売新聞 2021/03/21

2021:1./ 143p

978-4-8381-0609-7

本体 ¥2,860〔税込〕



おれたちの歌をうたえ

呉 勝浩 著

文藝春秋

友が遺した五行の詩。連絡を待ちわびていた元刑事は、それが自分達への伝言だと気づく。40年前のあの日の真実を求めて、執念の捜査が始まった。友情を諦めなかった男たちの、悔恨と希望の物語。

読売新聞 2021/03/21、朝日新聞 2021/03/27

2021:2./ 598p

978-4-16-391327-8

本体 ¥2,200〔税込〕



あやし草紙〜三島屋変調百物語伍之続〜(角川文庫 み 28-55)

宮部 みゆき 著

KADOKAWA

悲しみを乗り越えたおちかが迎える新たな語り手は、なじみの貸本屋「瓢?古堂」の若旦那勘一。彼の話を引き金に、おちかは自身の運命を変える重大な決断を下すが…。全5話を収録。三島屋シリーズ第5弾・第1期完結篇。

読売新聞 2021/03/28

2020:6./ 641p

978-4-04-108981-1

本体 ¥1,056〔税込〕





彼女のこんだて帖(講談社文庫 か 88-11)

角田 光代 著

講談社

振られた自分のために作ったラムステーキ、初めて妻に作るミートボウルシチュウ……。献立にこめられた、たくさんの恋と物語。

読売新聞 2021/03/28

2011:9./ 220p

978-4-06-277019-4

本体 ¥682〔税込〕



「顔」の進化～あなたの顔はどこからきたのか～(ブルーバックス B-2159)

馬場 悠男 著

講談社

顔とは何か。なぜそこに「部品」が集まっているのか。ヒトの顔はなぜ違うのか。どう進化したのか。ヒトの白眼はなぜ目立つのか。人類学の第一人者が、顔のあらゆる疑問を読み解く。顔に関する不思議が満載。

読売新聞 2021/03/28

2021:1./ 270p

978-4-06-522231-7

本体 ¥1,100〔税込〕



生きるとか死ぬとか父親とか(新潮文庫 し-89-1)

ジェーン・スー 著

新潮社

20年前に母を亡くし、父は80歳、娘は40半ば。一時は絶縁寸前までいったけれど、いま父の人生を聞いておかなければ、一生後悔する。娘の父への愛憎と家族の裏表を描く、普遍にして特別な物語。

読売新聞 2021/03/28

2021:3./ 246p

978-4-10-102541-4

本体 ¥605〔税込〕



西部戦線異状なし 改版(新潮文庫)

レマルク、秦 豊吉 著

新潮社

読売新聞 2021/03/28

2007:1./ 419p

978-4-10-212501-4

本体 ¥825〔税込〕



秘密の花園(新潮文庫 ハ-10-3)

フランシス・ホジソン・バーネット 著

新潮社

10歳にして両親を亡くし、親戚に引きとられたメアリ。顔色も悪く愛想のない彼女を唯一楽しませたのは、ひっそりと隠された庭園だった。3人の子どもに訪れた、美しい奇蹟を描いた児童文学永遠の名作を新訳。

読売新聞 2021/03/28

2016:6./ 439p

978-4-10-221404-6

本体 ¥781〔税込〕



ばあさんは15歳

阿川 佐和子 著

中央公論新社

高校入学を目前に、ふとした異変で昭和にタイムスリップした菜緒。愛想なしの祖母を相棒に東京タワーから始まる物語は、出会いと発見にあふれ…。孫娘とばあさんの時をまたぐ冒険を描く。『読売新聞』連載に加筆して単行本化。

読売新聞 2021/03/28

2021:1./ 358p

978-4-12-005377-1

本体 ¥1,760〔税込〕





檀流クッキング 改版(中公文庫)

檀 一雄 著

中央公論新社

読売新聞 2021/03/28

2002:9./ 248p

978-4-12-204094-6

本体 ¥733〔税込〕



食べ物日記～鬼平誕生のころ～(文春文庫)

池波 正太郎 著

文芸春秋

池波正太郎は昭和 43 年に何を食べ、誰に会い、どんな映画や芝居を観ていたか？

下町の味をこよなく愛した作家の日記を公開

2010:11./ 291p

978-4-16-714292-6

本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/03/28



いとしいなべもの(文春文庫 も 27-1)

森下 典子 著

文芸春秋

おいしいと、笑顔にちょっと泣き顔がまじるのは、なぜだろう…。ひと口食べれば思い出す、あの時、あの時代。オムライス、サッポロ一番みそラーメン、水羊羹、鯛焼きのおこげ。昭和と平成をつむぐ、おいしい記憶をめしあがれ。

2014:5./ 187p

978-4-16-790108-0

本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/03/28



花の百名山 新装版(文春文庫 た 14-5)

田中 澄江 著

文芸春秋

春の御前山で出会ったカタクリの大群落。早池峰のチシマコザクラ。高尾山から槍ヶ岳まで、山と花をこよなく愛した著者が、四季折々の山と花の結びつきを 100 選び、歴史や自身の思い出と共に綴った珠玉エッセイ。

2017:6./ 465p,12p

978-4-16-790875-1

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/03/28



Ctrl+Z 忘れられる権利

メグ・レタ・ジョーンズ 著

勁草書房

表現の自由等の重要な権利と衝突することから、論争を呼んでいる、新たな基本的人権「忘れられる権利」。既存の議論がこの権利を受け入れるか否か両極端にふれていることを批判し、ありうる選択肢を提供する。

2021:1./ 7p,231p,51p

978-4-326-45123-4

本体 ¥3,850〔税込〕



読売新聞 2021/03/28



大学教授、発達障害の子を育てる(光文社新書 1117)

岡嶋 裕史 著

光文社

自閉スペクトラム症の息子と自分もその傾向があった父親。情報ネットワークが専門の大学教授である父親は文献を読み込み、医師や世間とのズレに挑むが…。軽妙なタッチで描く日常生活奮闘記。『本がすき。』連載を加筆・修正。

2021:2./ 317p

978-4-334-04509-8

本体 ¥1,034〔税込〕



読売新聞 2021/03/28



植物図鑑(幻冬舎文庫 あ-34-3)

有川 浩 著

幻冬舎

「お嬢さん、よかったですら俺を拾ってくれないませんか？ 咬みません。蟬のできたよい子です」思わず拾ってしまったイケメン・イツキとさやかな風変わりな同居生活が始まった。とびきり美味しい“道草”恋愛小説。レシピも掲載。

読売新聞 2021/03/28

2013.1./ 425p

978-4-344-41968-1

本体 ¥754〔税込〕



身近な雑草の愉快な生きかた(ちくま文庫 い 71-1)

稲垣 栄洋 著

筑摩書房

読売新聞 2021/03/28

2011.4./ 259p

978-4-480-42819-6

本体 ¥770〔税込〕



翻訳教室～はじめの一步～(ちくま文庫 こ 39-2)

鴻巣 友季子 著

筑摩書房

「外国語を訳す」とはどういうことか。母語ではない他者の言葉と向き合うための「はじめの一步」とは-。文芸翻訳の第一線で活躍し続ける著者が、母校の小学校で開催した「翻訳教室」のレッスンをまとめた、珠玉の入門書。

読売新聞 2021/03/28

2021.2./ 212p

978-4-480-43714-3

本体 ¥880〔税込〕



原野(ムーア)の館(創元推理文庫 M テ 6-5)

ダフネ・デュ・モーリア 著

東京創元社

母が亡くなり、叔母の住むジャマイカ館に身を寄せることになったメアリー。だが、そこには恐ろしい秘密が…。ヒッチコック監督の映画「巖窟の野獣」の原作になったサスペンスの名品の新訳。

読売新聞 2021/03/28

2021.3./ 423p

978-4-488-20606-2

本体 ¥1,320〔税込〕



MMT は何が間違いなのか?～進歩主義的なマクロ経済政策の可能性～

ジェラルド・A・エプシュタイン 著

東洋経済新報社

MMT は救世主なのか。閉塞状態を抜け出す経済学・金融政策とは何か。米金融政策の権威で「経済の金融化」研究の第一人者が、MMT(現代貨幣理論)は本当に経済政策に適用できるのかを考察する。

読売新聞 2021/03/28

2020.12./ 215p,42p

978-4-492-65492-7

本体 ¥3,080〔税込〕



震える叫び(Scream!絶叫コレクション)

理論社

本当に怖いお化け屋敷、アイスクリームを食べ続けた代償、永遠に降りられない特急列車…。20 人の作家が、絶叫から始まる、もしくは絶叫で終わる物語をくりひろげる。米ホラー&ミステリー作家の競作集。

読売新聞 2021/03/28

2020.6./ 221p

978-4-652-20380-4

本体 ¥1,650〔税込〕





不気味な叫び(Scream!絶叫コレクション)

理論社

亡き者をよみがえらせる呪文。あこがれのワンピースの罟。奪われた声の行方…。7人の作家が、絶叫から始まる、もしくは絶叫で終わる物語をくりひろげる。米ホラー&ミステリー作家の競作集。

読売新聞 2021/03/28

2020/9./ 229p

978-4-652-20381-1

本体 ¥1,650〔税込〕



消えない叫び(Scream!絶叫コレクション)

理論社

美人の姉に迫る危機。存在しないエリアからのメッセージ。増えすぎたリスの真相。幽霊に呼び出された少年…。6人の作家が綴る、絶叫から始まる、もしくは絶叫で終わる物語。米ホラー&ミステリー作家の競作集、最終巻。

読売新聞 2021/03/28

2020/12./ 220p

978-4-652-20382-8

本体 ¥1,650〔税込〕



花月曆

広田千悦子 著

パイインターナショナル

二十四節気とともに草木花に学び、楽しむ。季節の移ろいを感じ、彩りのある暮らしを。歳時記研究家が季節の行事と植物の楽しみ方を美しい写真とともに伝える。ウェブサイト『花毎』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2021/03/28

2021/3./ 255p

978-4-7562-5480-1

本体 ¥1,980〔税込〕



食堂のおばちゃん(ハルキ文庫 や 11-2)

山口 恵以子 著

角川春樹事務所

夫婦のすれ違い、跡とり問題、仕事の悩み…。人生いろいろ大変なこともあるけれど、財布に優しい「はじめ食堂」で、美味しい料理を頂けば、明日の元気がわいてくる! 料理のレシピも掲載。

読売新聞 2021/03/28

2016/12./ 221p

978-4-7584-4056-1

本体 ¥660〔税込〕



自転車お宝ラーメン紀行(わたしの旅ブックス 027)

石田 ゆうすけ 著

産業編集センター

東京という大海原をさまよい、宝探しをしながら、昭和なラーメンを食べる。?屋ポタリングで偶然たどり着いた「懐かし旨い」ラーメンを紹介する自転車旅エッセイ。『dancyu web』連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2021/03/28

2020/12./ 287p

978-4-86311-282-7

本体 ¥1,210〔税込〕



西洋アンティーク・ボードゲーム～19 世紀に愛された遊びの世界～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編

エイドリアン・セビル 著

日経ナショナルジオグラフィック社

ボードゲーム黄金期だった 19 世紀ヨーロッパのボードゲームを中心に 89 点を収録。カラフルで目に楽しいデザイン、遊び方、文化的・社会的背景、制作の工夫など、ボードゲームの魅力を伝える。

読売新聞 2021/03/28

2021/1./ 207p

978-4-86313-497-3

本体 ¥2,970〔税込〕





ザ・空気<ver.3> そして彼は去った...

永井 愛 著

而立書房

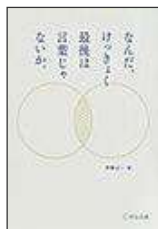
政権べつたりな政治コメンテーターの横松。ニュース番組に招かれるも、控室が新聞記者時代の後輩の自死した現場と知るや、政権のスキャンダルを暴露しはじめ…。いまの日本を覆う“空気”の正体に迫る、戯曲シリーズ完結編。

読売新聞 2021/03/28

2021.3./ 110p

978-4-88059-426-2

本体 ¥1,650〔税込〕



なんだ、けっきょく最後は言葉じゃないか。

伊藤 公一 著

宣伝会議

人の心を動かすには、言葉を磨くしかない！電通で中堅コピーライターのための「コピーゼミ」を主宰していた著者が、強く伝わる言葉の書き方を体系立てて解説する。もう一段上のコミュニケーション力が身につく一冊。

読売新聞 2021/03/28

2021.2./ 223p

978-4-88335-511-2

本体 ¥1,760〔税込〕



新プロパガンダ論(ゲンロン叢書 008)

辻田 真佐憲／西田 亮介 著

ゲンロン

社会学者・西田亮介と近現代史家・辻田真佐憲によるまったく新しい安倍長期政権分析。現代日本のプロパガンダ(政治広報、情報戦略)をめぐり、2018年4月?2020年9月に5回に渡って行われた対談を加筆修正し書籍化。

読売新聞 2021/03/28

2021.1./ 253p

978-4-907188-40-5

本体 ¥1,980〔税込〕



Neverland Diner～二度と行けないあの店で～

都築 響一 著

クラークエンボ

もういけない店、味わえない味、酔っ払えないカウンター。僕をつくったあの店は、もうない。100人の「二度と行けないあの店」の思い出を紹介。週刊メールマガジン『ROADSIDERS'weekly』連載を書籍化。

読売新聞 2021/03/28

2021.1./ 638p

978-4-910315-02-7

本体 ¥3,630〔税込〕



アウシュヴィッツの地獄に生きて(朝日文庫 に17-1)

J・S・ニューマン 著

朝日新聞出版

看護婦のジュディスが収容所に送られたのは23歳のとき。母、兄弟姉妹、婚約者、叔父叔母らはみな次々と収容所で殺された。収容所の現実、解放後の苦しみ、その後の人生を綴った、生還者の回顧録。

日本経済新聞 2021/03/06

2020.12./ 207p

978-4-02-262041-5

本体 ¥737〔税込〕



アルツハイマー征服

下山 進 著

KADOKAWA

遺伝子の特定、トランスジェニック・マウスの開発、ワクチン療法から抗体薬。名声に囚われた科学者の捏造事件、治験に失敗した巨大製薬会社の破綻など、幾多のドラマでアルツハイマー病治療法解明までの長い道を描く。

日本経済新聞 2021/03/06

2021.1./ 330p

978-4-04-109161-6

本体 ¥1,980〔税込〕



**感染症の世界史(角川ソフィア文庫 I405-1)**石 弘之 著
KADOKAWA

最強の感染症=エボラ出血熱を人類は押さえ込めるのか!? 微生物(ウイルス・細菌・寄生虫)の最新遺伝子情報、40 億年の地球環境史の視点から、人類を苦しめる感染症の正体を暴く。

2018:1./ 372p

978-4-04-400367-8

本体 ¥1,188〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06

**図解感染症の世界史**石 弘之 著
KADOKAWA

人類と微生物の格闘、共生を 30 億年の地球環境史から読み解いた「感染症の世界史」の図解版。感染症にまつわるさまざまな話題を 100 点超の図版を使って紹介する。新型コロナウイルスの最新の知見も満載。

2021:1./ 127p

978-4-04-400633-4

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06

**徳川家康<1> 出生乱離の巻(山岡荘八歴史文庫)**山岡 荘八 著
講談社

竹千代(家康)が生まれた年、信玄は 22 歳、謙信は 13 歳、信長は 9 歳であった。動乱期の英傑が天下制覇の夢を抱くさなかの誕生。それは弱小松平党にとっては希望の星であった。剛毅と智謀を兼ね備えて泰平の世を拓いた家康の生涯を描いて、現代人の心に永遠の感動を刻む世紀の大河ドラマ発端篇!

1987:10./ 502p

978-4-06-195023-8

本体 ¥850〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06

**新書太閤記<1>(吉川英治歴史時代文庫)**吉川 英治 著
講談社

動乱の中世に終止符を打ち、新世紀を開いた豊臣秀吉の生涯を描く、規模雄大な出世物語が本書である。民衆の上にあるのではなく、民衆の中に伍してゆく英雄として、秀吉は古来、誰からも愛されてきた。――奔放な少年時代を過ごした日吉が、世間を見る眼も肥え、生涯の主君として選んだのが、うつけで知られる織田信長であった。隨身を機に名も木下藤吉郎と改め、着実に出世街道を歩んでいく。

1990:5./ 451p

978-4-06-196522-5

本体 ¥850〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06

**フォン・ノイマンの哲学～人間のフリをした悪魔～(講談社現代新書 2608)**高橋 昌一郎 著
講談社

コンピュータ、原子爆弾、ゲーム理論、天気予報…。現代社会の基本構造をつくった天才、フォン・ノイマンの栄光と苦悩とは? 彼の生涯と思想を振り返り、「フォン・ノイマンの哲学」に迫る。『本』連載を加筆・修正し新書化。

2021:2./ 270p

978-4-06-522440-3

本体 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06

**雄気堂々<上巻> 改版(新潮文庫)**城山 三郎 著
新潮社

日本経済新聞 2021/03/06

2003:8./ 445p

978-4-10-113303-4

本体 ¥781〔税込〕





雄気堂々<下巻> 改版(新潮文庫)

城山 三郎 著

新潮社

日本経済新聞 2021/03/06

2003.8./ 461p

978-4-10-113304-1

本体 ¥825〔税込〕



運を天に任すなんて〜人間・中山素平〜(新潮文庫)

城山 三郎 著

新潮社

日本経済新聞 2021/03/06

2003.3./ 236p

978-4-10-113327-0

本体 ¥440〔税込〕



ビジネスマンの父より息子への30通の手紙(新潮文庫)

キングスレイ・ウオード 著

新潮社

日本経済新聞 2021/03/06

1994.4./ 292p

978-4-10-242801-6

本体 ¥693〔税込〕



戦後民主主義〜現代日本を創った思想と文化〜(中公新書 2627)

山本 昭宏 著

中央公論新社

アジア・太平洋戦争の悲惨な経験から、多くの支持を得た戦後民主主義も、近年は改憲論の前に守勢にある。戦後の制度改革、社会運動、政治家、知識人、映画などに着目し、戦後民主主義が日本社会に残した影響をたどる。

2021.1./ 8p,316p

978-4-12-102627-9

本体 ¥1,012〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



ロッキード

真山 仁 著

文藝春秋

日本を揺るがした大疑獄の「真犯人」とは。なぜ角栄は葬られたのか。裁判官、特捜検事、秘書、全日空関係者らの多数の証言をもとに、「ロッキード神話」の真実を明らかにする。『週刊文春』掲載を大幅加筆し書籍化。

2021.1./ 591p

978-4-16-391303-2

本体 ¥2,475〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

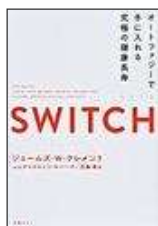
1999.1./ 350p

978-4-16-710576-1

本体 ¥803〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



SWITCH〜オートファジーで手に入れる究極の健康長寿〜

ジェームズ・W・クレメント、クリスティン・ロバーク／クリスティン・ロバーク 著

日経BP社

細胞の自己浄化機能「オートファジー」は、すべての人が備え持つ、アンチエイジングと健康長寿の鍵。“朝食抜き”と“運動 20 分”でオートファジーの力を目覚めさせ、健康長寿を手に入れる方法を伝える。

2021.1./ 293p

978-4-296-00008-1

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



囚われし者たちの国～世界の刑務所に正義を訪ねて～

バズ・ドライシンガー 著

紀伊國屋書店出版部

大量投獄、人種間の不平等、抑止効果という幻想。受刑者の社会復帰支援に携わる著者は、アメリカが世界に輸出した刑務所システムに疑問を抱き、世界9か国の刑務所を訪ねた。司法と正義のあるべき姿を追うルポルタージュ。

日本経済新聞 2021/03/06

2020.12./ 457p

978-4-314-01179-2

本体 ¥2,310〔税込〕



人生を変えるドラッカー～小説でわかる名著『経営者の条件』～

吉田 麻子 著

ダイヤモンド社

社長に叱られ自信喪失のOL青柳夏子、成績不振に悩む営業マン杉並柊介、脱サラ起業がうまくいかずギリギリ舞いの堀川徹...それぞれの壁を、彼らはどう乗り越えたか? ドラッカーの名著『経営者の条件』を小説仕立てで解く。

日本経済新聞 2021/03/06

2016.12./ 260p

978-4-478-10070-7

本体 ¥1,650〔税込〕



考え方～人生・仕事の結果が変わる～

稲盛 和夫 著

大和書房

自己成長を促し、真の充足をもたらす唯一の確実な方法とは。「大きな志を持つこと」「常に前向きであること」...。当代随一の経営者・稲盛和夫が、素晴らしい人生を送るために必要な「考え方」を語る。

日本経済新聞 2021/03/06

2017.3./ 255p

978-4-479-79573-5

本体 ¥1,650〔税込〕



隣の国のことば～茨木のリ子と韓国～

金 智英 著

筑摩書房

日韓の文化を日本の側から横断した戦後の女性詩人・茨木のリ子。彼女がハングルを学び、韓国現代詩の編訳まで手掛けたのはなぜか。茨木のリ子と韓国の関連を、主に茨木の詩作品などをもとに論じる。

日本経済新聞 2021/03/06

2020.12./ 288p,9p

978-4-480-82381-6

本体 ¥2,420〔税込〕



アクティビスト～取締役会の野蛮な侵入者～

オーウェン・ウォーカー 著

日本経済新聞出版社

マイクロソフト、ヤフー、HPなど世界の大企業と主要アクティビストとの間に何が起きたのか。取締役会での攻防戦、放逐される経営陣の悲劇など、変革推進派、反対派双方の視点を盛り込んで活写した経済ノンフィクション。

日本経済新聞 2021/03/06

2021.1./ 294p

978-4-532-32163-5

本体 ¥1,980〔税込〕



学名の秘密～生き物はどのように名付けられるか～

スティーヴン・B・ハード 著

原書房

ダーウィンのフジツボ、デヴィッド・ボウイのクモ、マルフォイのハチ...。これらの学名はどのようにして名付けられたのか。なぜ学名をつける必要があるのか。命名の決まりから命名権の売買まで、種の発見と名付けの逸話を紹介。

日本経済新聞 2021/03/06

2021.1./ 281p

978-4-562-05895-2

本体 ¥2,970〔税込〕





商売心得帖(PHP 文庫)

松下 幸之助 著

PHP研究所

商売は朝に発意、昼に実行、夕べに反省の繰り返し。事業一筋半世紀、その豊富な体験と深い思索から説く商売のコツとは。ビジネスの基本と本質が詰まった一冊。

2001.5./ 204p

978-4-569-57557-5

本体 ¥523〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



世界の台所探検～料理から暮らしと社会がみえる～

岡根谷実里 著

青幻舎

「台所探検家」が、タイやコソボ、ヨルダンなどで現地の人と一緒に料理をしたり、食事をしたりして生活を体験。海外の暮らしと文化の「リアル」を豊富な写真とともに紹介する。現地家庭で教えてもらったレシピも掲載。

2020.12./ 191p

978-4-86152-820-0

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06



感情史とは何か

バーバラ・H. ローゼンワイン／リッカルド・クリスティアーニ／伊東 剛史 著

岩波書店

恐怖、怒り、幸せ。感情への眼差しは歴史学をいかに変えるのか。感情史の魅力と最新動向を、「科学」「アプローチ」「身体」「未来」の切り口から紹介する。学際研究への示唆に富んだ入門書。

2021.1./

10p,234p,12p

978-4-00-061450-4

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06、朝日新聞 2021/03/13



リベラルなイスラーム～自分らしくある宗教講義～

大川 玲子 著

慶應義塾大学出版会

時代とともにイスラームの聖典クルアーンの読み方も変わりつつある。クルアーンというテキストを「リベラル」な解釈へと開き、変革を期す者たちに着目。他者を認め、自分らしくあることを目指す「読み」と、その実践を紹介。

2021.1./ 278p

978-4-7664-2713-4

本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06、読売新聞 2021/03/07



熊楠～生命と霊性～

安藤 礼二 著

河出書房新社

未曾有のスケールで世界的にして未来的な思想を探り出した巨人・南方熊楠。その可能性を鈴木大拙、井筒俊彦、そして世界と共振させる中から、未来の哲学をたちあげる。30年をかけた熊楠探求の総決算にして新たな転回の書。

2021.1./ 253p

978-4-309-02849-1

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/06、読売新聞 2021/03/14



グローバル・ヒストリー～批判的歴史叙述のために～

ゼバスティアン・コンラート 著

岩波書店

グローバル化する世界の中で、歴史はどのように語られうるのか。グローバリゼーションがもたらす様々な問題や弊害に向き合い、乗り越えるための方法論、実践としての可能性を、気鋭の歴史家が描き出す。

2021.1./ 8p,253p,41p

978-4-00-022644-8

本体 ¥3,190〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



おうち性教育はじめます～一番やさしい!防犯・SEX・命の伝え方～(MF comic essay)

フクチ マミ/村瀬 幸浩 著

KADOKAWA

主に 3?10 歳の子どもを持つ家庭向けの性教育の本。「うちにも赤ちゃんはくる?」といった素朴な質問への答え方から、性犯罪の被害者・加害者にならないための日々の言葉かけ、思春期の心と体の変化まで、マンガで説明する。

2020.3./ 199p

978-4-04-064517-9

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



教育は変えられる(講談社現代新書 2604)

山口 裕也 著

講談社

教育はこれからどこへ向かうのか。子どもたちの学びのあり方はどう変わり、それを支える教育の担い手たちはどうあるべきなのか。新時代の教育のあり方を、全方位的に指し示す。

2021.1./ 345p

978-4-06-522182-2

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



赤毛のアン(新潮文庫)

モンゴメリ 著

新潮社

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた 2 人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく――。愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起す愉快な事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織りこまれた永遠の名作。

2008.2./ 529p

978-4-10-211341-7

本体 ¥825〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



野球にときめいて～王貞治、半生を語る～(中公文庫 お 95-1)

王 貞治 著

中央公論新社

ガキ大将だった少年時代、家族への思い、「一本足打法」の誕生、長嶋茂雄の意外な素顔…。世界のホームラン王として、また監督として、半世紀にわたり日本の球界をリードしてきた王貞治が、野球人生を振り返る。

2020.12./ 269p

978-4-12-207001-1

本体 ¥924〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



赤毛のアン(文春文庫 モ 4-1)

L・M・モンゴメリ 著

文藝春秋

孤児アンはプリンス・エドワード島でマシューとマリラに愛され、すこやかに育ち…。ラズベリー水、スコットランド系の民族衣裳なども原書通りに翻訳した日本初の全文訳。英文学からの引用を解説する訳註付き。

2019.7./ 602p

978-4-16-791324-3

本体 ¥858〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



格差社会と都市空間～東京圏の社会地図 1990-2010～

橋本健二／浅川達人 著

鹿島出版会

エリートの閉鎖性、「アンダークラス」の実態、そして階層意識や政治的対立の発現、分極化と地域間格差の拡大…。階級・階層論と都市社会学から、格差拡大の姿をビジュアルに捉え、東京圏の格差拡大の空間構造を明らかにする。

日本経済新聞 2021/03/13

2020/7./ 301p

978-4-306-07355-5

本体 ¥3,850〔税込〕



天下一のへりくつ者

佐々木 功 著

光文社

天正 18 年、小田原城は豊臣秀吉の大軍勢に囲まれ、北条家の命運は今や風前の灯だった。誰もが策を見いだせず諦めかける中、亡き北条氏康の寵臣にして小田原一のへんくつ坊主・板部岡江雪が動き出す。

日本経済新聞 2021/03/13

2021/1./ 339p

978-4-334-91383-0

本体 ¥1,980〔税込〕



教育格差～階層・地域・学歴～(ちくま新書 1422)

松岡 亮二 著

筑摩書房

日本は「生まれ」で人生の選択肢・可能性が大きく制限される「緩やかな身分社会」。教育格差の実態を圧倒的なデータ量で検証。すべての人が自分の可能性を活かせる社会をつくるために、採るべき現実的な対策を提案する。

日本経済新聞 2021/03/13

2019/7./ 360p,21p

978-4-480-07237-5

本体 ¥1,100〔税込〕



保育園に通えない子どもたち～「無園児」という闇～(ちくま新書 1490)

可知 悠子 著

筑摩書房

日本全国に 3 歳から 6 歳児で 9.5 万人いると言われている無園児。その実態と就園の障壁について、全国 4 万人を対象とした研究の成果と、無園児の家庭や支援団体への取材を紹介。「幼児教育義務化」についての対談も収録。

日本経済新聞 2021/03/13

2020/4./ 211p

978-4-480-07308-2

本体 ¥880〔税込〕



原発事故 自治体からの証言(ちくま新書 1554)

自治総研 編

今井 照 著

筑摩書房

福島第一原発事故当時、現地の役場で何が起きていたのか。過酷な状況に直面した自治体の職員は何を考え、何をしてきたか。大熊町前副町長らへのインタビューをもとにした証言に、研究者の解説を加えたドキュメント。

日本経済新聞 2021/03/13

2021/2./ 281p

978-4-480-07372-3

本体 ¥968〔税込〕



日本的雇用・セーフティーネットの規制改革

八代 尚宏 著

日本経済新聞出版社

規制改革、成長戦略でかけ声倒れに終わった第 2 次安倍政権の経済政策を検証。数々の規制改革に挑んできた著者が、日本的雇用慣行の見直し、ジョブ型を起点とする労働市場改革、年金支給年齢の引き上げなどを提言する。

日本経済新聞 2021/03/13

2020/12./ 215p

978-4-532-35873-0

本体 ¥2,200〔税込〕





戦争が巨木を伐った～昭和の戦争と供木運動・木造船～(平凡社選書 236)

瀬田 勝哉 著

平凡社

戦局悪化のなか、木造船の緊急増産を決定した政府は、その材を平地の巨木にも求め、屋敷、寺社、並木の木々の供出運動を展開した。日本における樹木と人の関係史上まれに見る危機的局面を、中世史家がはじめて明るみに出す。

2021.1./ 526p

978-4-582-84236-4

本体 ¥4,180〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



子どもの貧困調査～子どもの生活に関する実態調査から見てきたもの～

山野 則子 著

明石書店

データが示す子どもたちの実態とは。貧困の実態のみを表すのではなく、調査の意義や方法等の設計部分から地方自治体と研究者の協働、施策の策定・実施・改善までデータに基づく議論の展開を提示。実態と施策の架け橋となる書。

2019.12./ 279p

978-4-7503-4947-3

本体 ¥3,080〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



CHOICE～自分で選びとるための「性」の知識～

シオリーヌ 著

イースト・プレス

性教育は健やかな成長に欠かせない大切な知識。性教育 YouTuber の著者が、若い世代や、子どもたちと接する大人に向け、性の基礎知識をマンガやイラストを交えて解説。性の疑問にも答えます。

2020.12./ 187p

978-4-7816-1937-8

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



わが子に伝えたいお母さんのための性教育入門～おうちで話すいのち・生理・射精・セックス～

直井 亜紀 著

実務教育出版

望まない妊娠や性犯罪からわが子を守るには？ 小学校・高校で「性」や「いのち」についての授業をしている著者が保護者に向け、家庭でどうやって性やいのちの教育をしていけばいいのかを、マンガを交えてわかりやすく伝える。

2020.9./ 191p

978-4-7889-0907-6

本体 ¥1,430〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



タックス・ヘイヴンの経済学～グローバリズムと租税国家の危機～

中村 雅秀 著

京都大学学術出版会

「パナマ文書」が世界にセンセーショナルに突き付けた租税国家の抜け穴。税逃れに国家はどう対抗するのか。GAFA に代表される多国籍企業への課税の実態に迫ることで、新たな国際租税制度の可能性を論じる。

2021.2./ 13p,323p

978-4-8140-0302-0

本体 ¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



ゲノム編集食品が変える食の未来～ADVANCED FOOD～

松永和記 著

ウェッジ

ゲノム編集食品が食卓を変える！ 気鋭の科学ジャーナリストが、科学的根拠に基づき「食」の技術革新を解説。消費者が誤解・忌避する心理も浮き彫りにしながら、未来の食の行方と日本が果たすべき役割を示す。

2020.11./ 239p

978-4-86310-231-6

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



子どもの貧困とチームアプローチ～“見えない”“見えにくい”を乗り越えるために～

松田 恵示、入江 優子、加瀬 進 著

書肆クラレテ

チーム学校時代の教育現場では、「子どもの貧困」に対して、何ができるのか。理論と実践の両面から教員養成系大学が取り組んだ、「子どもの貧困」問題のアクチュアリティをまとめる。

2020:4./ 7p,208p

978-4-88602-658-3

本体 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



韓国演劇運動史

柳 敏榮 著

風響社

開化期、日帝時代、動乱、そして民主化。百余年の曲折を、演劇史の第一人者が、韓国人社会と舞台の表裏から克明に描く。詳細な資料と聞き取りにより、低迷も隆盛も、そしてその素因も描ききった韓国演劇史の名著の完訳。

2020:12./ 734p

978-4-89489-283-5

本体 ¥4,400〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13



レストラン「ドイツ亭」

アネッテ・ヘス 著

河出書房新社

フランクフルトでレストラン「ドイツ亭」を営む両親や家族とともに暮らす 24 歳のエーファは、ある偶然から、アウシュヴィッツ裁判でホロコーストの被害者の証言を通訳するよう依頼される。それは彼女の運命を大きく変え....。

2021:1./ 378p

978-4-309-20816-9

本体 ¥3,190〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13、産経新聞 2021/03/14



ロヒンギャ危機～「民族浄化」の真相～(中公新書 2629)

中西 嘉宏 著

中央公論新社

2017 年の国軍による掃討作戦以降、大量のロヒンギャ難民が発生し、100 万人が隣国のキャンプで暮らす。複雑な歴史的背景やミャンマーをめぐる国内・国際政治を通し、アジア最大の人道・人権問題の全貌を示す。

2021:1./ 5p,252p

978-4-12-102629-3

本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13、朝日新聞 2021/03/20



絶望死のアメリカ～資本主義がめざすべきもの～

アン・ケース／アンガス・ディートン 著

みすず書房

白人中年アメリカ人を蝕む、薬物過剰摂取、アルコール中毒、自殺による「絶望死」。アメリカ労働者階級を死に追いやりつつある資本主義の欠陥を冷静に分析し、資本主義の力を取りもどす筋道を提示する。

2021:1./

13p,291p,38p

978-4-622-08963-6

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13、朝日新聞 2021/03/20



WAYFINDING 道を見つける力～人類はナビゲーションで進化した～

M・R・オコナー 著

合同出版

GPS によって人類は何を失うか？ 脳のなかの時空間から、言語・物語の起源まで。科学ノンフィクションの名手が、ナビゲーションと進化を巡る壮大な探求の旅へ誘い、道を見つける力が私たちを「人間」にしたことを明かす。

2021:1./ 415p

978-4-7726-9571-8

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/03/13、読売新聞 2021/03/21



総合検証東日本大震災からの復興

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 著
岩波書店

東日本大震災の甚大な被害からの復興は、まちと住宅、生活や産業の再建だけでなく人々の意識や災害へのビジョンを変化させた。10 年を経た復興の現状と、発展し続けてきた危機管理と災害対応、復興政策のあり方を総括する。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:2./ 10p,365p

978-4-00-023744-4

本体 ¥4,400〔税込〕



ヨオロッパの世紀末(岩波文庫 青 194-2)

吉田健一 著
岩波書店

ヨーロッパとは何か。我々は誤解を重ねてきたにすぎないヨーロッパがヨーロッパとしての性格を完成した 18 世紀、墮落に転じた 19 世紀、そして再生の季節としての世紀末を論じた本書は、その比類ない歴史感覚でそれまでのヨーロッパ観、世紀末観を根底から覆した。著者円熟期の最も薫りたかい果実である。

日本経済新聞 2021/03/20

1994:10./ 263p

978-4-00-331942-0

本体 ¥858〔税込〕



物理学はいかに創られたか～初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展～<上巻> 改版(岩波新書 赤版 R-14)

アインシュタイン, A. (アルバート) / インフェルト, L. 著
岩波書店

20 世紀を代表する物理学者であるアインシュタインとインフェルトが、専門的予備知識を持たない読者のために、現代物理学の全貌を平易に解説した万人のための入門書。数式を用いず、巧みな比喩と明快な叙述によって、ガリレイやニュートン以来の物理思想から相対性理論および量子論に説き及ぶ。

日本経済新聞 2021/03/20

1963:9./ 177p

978-4-00-400014-3

本体 ¥836〔税込〕



物理学はいかに創られたか～初期の観念から相対性理論及び量子論への思想の発展～<下巻> 改版(岩波新書 赤版 R-15)

アインシュタイン, A. (アルバート) / インフェルト, L. 著
岩波書店

20 世紀を代表する物理学者であるアインシュタインとインフェルトが、専門的予備知識を持たない読者のために、現代物理学の全貌を平易に解説した万人のための入門書。数式を用いず、巧みな比喩と明快な叙述によって、ガリレイやニュートン以来の物理思想から相対性理論および量子論に説き及ぶ。

日本経済新聞 2021/03/20

1963:10./ 194p

978-4-00-400015-0

本体 ¥836〔税込〕



脳のなかの幽霊(角川文庫)

V・S・ラマチャンドラン / サンドラ・ブレイクスリー 著
角川書店

切断された手足がまだあると感じる。体の一部を他人のものだと主張する。両親を本人と認めず偽物だと主張する。著者が出会った様々な患者の奇妙な症状を手掛かりに、脳の仕組みや働きについて考える。

日本経済新聞 2021/03/20

2010:12.

978-4-04-298211-1

本体 ¥1,012〔税込〕





生物と無生物のあいだ(講談社現代新書)

福岡 伸一 著

講談社

「生きている」とはどういうことか？ 分子生物学がたどりついた地平を、歴史の闇に沈んだ科学者たちに光を当てながら平易に明かす。ページをめくる手がとまらない極上の科学ミステリー。

日本経済新聞 2021/03/20

2007:5./ 285p

978-4-06-149891-4

本体 ¥968〔税込〕



こんな日もある～競馬徒然草～

古井 由吉 著

講談社

年々歳々、馬とともに春夏秋冬をめくり、移り変わる人と時代を見つめ続けた作家が、30 余年にわたり書き継いだエッセイを書籍化。高橋源一郎の解説も収録。『優駿』連載を書籍化。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:2./ 297p

978-4-06-522270-6

本体 ¥1,870〔税込〕



ハイブリッド戦争～ロシアの新しい国家戦略～(講談社現代新書 2607)

廣瀬 陽子 著

講談社

執拗なサイバー攻撃、SNS を利用したプロパガンダ、暗躍する民間軍事会社…。正規と非正規を組み合わせた 21 世紀型戦争の実態と、ロシアの外交・軍事戦略の全貌に迫る。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:2./ 347p

978-4-06-522709-1

本体 ¥1,320〔税込〕



紀ノ川 改版(新潮文庫)

有吉 佐和子 著

新潮社

日本経済新聞 2021/03/20

2006:4./ 357p

978-4-10-113201-3

本体 ¥693〔税込〕



チェーザレ・ボルジアあるいは優雅なる冷酷 改版(新潮文庫 し-12-2)

塩野 七生 著

新潮社

法王の庶子として教会勢力を操り、政略結婚によって得たフランス王の援助を背景に、ヨーロッパを騒乱の渦に巻き込んだチェーザレ・ボルジア。ルネサンス期を生き急ぐように駆け抜けた男の青春を描く。

日本経済新聞 2021/03/20

2013:2./ 413p,7p

978-4-10-118102-8

本体 ¥737〔税込〕



明治天皇<1>(新潮文庫 き-30-1)

ドナルド・キーン 著

新潮社

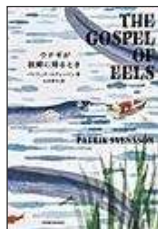
日本経済新聞 2021/03/20

2007:2./ 471p

978-4-10-131351-1

本体 ¥781〔税込〕





ウナギが故郷に帰るとき
パトリック・スヴェンソン 著
新潮社

アリストテレスの時代から、不思議な生態で人々を魅了してきたウナギ。彼らはどこから来てどこへ行くのか。今なお謎に包まれたウナギの一生を解き明かしつつ、我々に「生きることの意味」を問いかける本。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:1./ 267p,4p
978-4-10-507241-4
本体 ¥2,420〔税込〕



リラとわたし(ナポリの物語 1)
エレナ・フェッランテ、飯田 亮介 著
早川書房

本好きで真面目なエレナと、天才的な頭脳を持つ反逆児リラ。10歳で出会ったふたりは、たよりあい、反発しあいながらも、変わりゆく1950年代のナポリで成長してゆく…。ナポリが生んだ個性豊かな2人の少女の物語。

日本経済新聞 2021/03/20

2017:7./ 427p
978-4-15-209698-2
本体 ¥2,310〔税込〕



消失の惑星(ほし)
ジュリア・フィリップス 著
早川書房

8月のある午後、ロシア極東の街で幼い姉妹が行方不明になった。この事件が、ばらばらに生きる女たちを結びつけ…。カムチャッカの美しい情景、そこに生きる女たちの痛みと希望を克明に描く、新鋭米国作家による文芸作品。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:2./ 397p
978-4-15-210003-0
本体 ¥2,420〔税込〕



私のエッセイズム～古井由吉エッセイ撰～
築地 正明 編
古井 由吉 著
河出書房新社

古井文学にとって「エッセイズム」は核心であり、エッセイは半身をなしていた。初期から晩年までのエッセイのなかから、古井由吉の文学の核心を照らし出すと考えられる作品を選び、独特の「エッセイズム」の展開をたどる。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:1./ 331p
978-4-309-02938-2
本体 ¥3,850〔税込〕



ゲノムが語る23の物語
マット・リドレー、中村 桂子、斉藤 隆央 著
紀伊國屋書店

人間のDNA情報の全て、ヒトゲノムの解読が完了した。ゲノム解読結果を、人が持つ23対の染色体にあわせて、23のスリリングなストーリーとしてまとめあげた一冊。

日本経済新聞 2021/03/20

2000:11./ 424p
978-4-314-00882-2
本体 ¥2,640〔税込〕



アリの巣の生きもの図鑑
丸山 宗利、小松 貴、工藤 誠也、島田 拓、木野村 恭一 著
東海大学出版部

日本に生息する好蟻性生物の図鑑。チョウやハチ、ハエ、クモ、ダニなど、アリの巣やその周辺に生息する生きものと、シロアリの巣の生きものを、カラー写真で紹介する。好蟻性生物学入門も収録。

日本経済新聞 2021/03/20

2013:2./ 12p,208p
978-4-486-01970-1
本体 ¥4,950〔税込〕





アート思考のものづくり

延岡 健太郎 著

日本経済新聞出版社

日本企業が再び世界を牽引するには。SEDA 人材、マス・クラフツマンシップ、生命の表現、引き算の美学など、マツダの魂動デザインやアップルなどの事例を題材に、アート思考のものづくりを提言する。

日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 268p

978-4-532-32384-4

本体 ¥1,870〔税込〕



国際文化交流を実践する

国際交流基金 編

白水社

国際協調をいかに守るか？ 国際文化交流を専門的に担う国際交流基金の若手・中堅職員たちによるルポルタージュ。それぞれが世界各国で行ってきた実践を、喜び、葛藤、発見といった生の声とともに伝える。

日本経済新聞 2021/03/20

2020.12./ 262p

978-4-560-09797-7

本体 ¥2,310〔税込〕



都市に聴け～アーバン・スタディーズから読み解く東京～

町村 敬志 著

有斐閣

誰に対しても開かれる可能性をもった都市を今、構想することへの挑戦。再開発により大きく変貌しつつある東京を、「アーバン・スタディーズ」で読み解く。人が集まり社会をつくることの意味を考える書。

日本経済新聞 2021/03/20

2020.12./

13p,332p,12p

978-4-641-17452-8

本体 ¥3,190〔税込〕



書く、読む、生きる～一日の書けなくなるような境地がある。そこにさらされたとき、その奥から何かが見えてくる。～

古井 由吉 著

草思社

作家稼業、書くことと読むこと、日本文学とドイツ文学、東京大空襲、東日本大震災…。深奥な認識を唯一無二の口調、文体で語り、綴る。日本文学の巨星・古井由吉が遺した講演録、単行本未収録エッセイ、芥川賞選評を集成。

日本経済新聞 2021/03/20

2020.12./ 357p

978-4-7942-2479-8

本体 ¥2,420〔税込〕



東アジアのなかの満鉄～鉄道帝国のフロンティア～

林 采成 著

名古屋大学出版会

満鉄は、どのように「満鉄型」と呼ばれる技術体系を創り出し、どのような鉄道運営体制を中国大陆で構築したのか。満鉄の本業たる鉄道業に焦点を絞り、その歴史的意味合いを東アジア鉄道史の観点から考察する。

日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 8p,628p

978-4-8158-1013-9

本体 ¥8,580〔税込〕



B.LEAGUE 誕生～日本スポーツビジネス秘史～

大島 和人 著

日経BP社

紆余曲折をたどってきた日本のバス界。混乱がどう收拾され、B.LEAGUE の成功は実現したのか。bj リーグの発足、JBL の苦悩、合流の模索、川淵タスクフォースの全速改革…。関係者の証言でバス界の奇跡を綴る。

日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 270p

978-4-8222-8905-8

本体 ¥1,870〔税込〕





脚本の科学～認知と知覚のプロセスから理解する映画と脚本のしくみ～

ポール・ジョセフ・ガリーノ、コニー・シアーズ、石原 陽一郎 著
フィルムアート社

映画を見るとき、頭の中では何が起きているのか？ なぜ「スター・ウォーズ」の冒頭で、巨大な宇宙船が小さな宇宙船を追うのか？ 認知神経科学の観点から、すぐれた映画脚本とはどういうものかを解説する。

日本経済新聞 2021/03/20

2021:1./ 242p,3p
978-4-8459-1925-3
本体 ¥2,640〔税込〕



結核がつくる物語～感染と読者の近代～

北川 扶生子 著
岩波書店

近代最大の感染症・結核は「治療法のない死病」として長く恐れられた。思想統制から戦争に向かう厳しい時代のなかで、患者が置かれた状況を医学・政策・メディア・文学からあぶりだし、患者たちの書く営みの意味を考える。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:1./ 8p,201p,6p
978-4-00-061448-1
本体 ¥2,750〔税込〕



人がつなぐ源氏物語～藤原定家の写本からたどる物語の千年～(朝日選書 1017)

伊井春樹 著
朝日新聞出版

2019 年、「源氏物語」の定家本「若紫」巻が発見された。定家本が絶対視されたのはなぜか。長い星霜を経て、愛読され続けた物語は、どんな文化を生み出したのか。書写という営みを通して人々が伝えた千年の歴史をひもとく。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:2./ 350p
978-4-02-263104-6
本体 ¥1,870〔税込〕



<名奉行>の力量～江戸世相史話～(講談社学術文庫 2643)

藤田 覚 著
講談社

与力が語った「名奉行」の力量とは。領民から慕われる名代官が続出した時代を生んだ有名な改革とは。家臣に気さくに詫げる将軍吉宗の肉声から年利 1200%の超高金利金融の実態まで、江戸社会のリアルを描く。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:1./ 234p
978-4-06-522236-2
本体 ¥1,056〔税込〕



花埋み 改訂新版(集英社文庫 わ 1-49)

渡辺 淳一 著
集英社

夫に業病をうつされ、離別した女性。苛酷な運命にさらされながらも彼女は立ち上がった。医師の道を志して。わが国で初めて国家公認の医師免許を持つ女医となった荻野吟子の波瀾に満ちた生涯を描く評伝小説。

日本経済新聞 2021/03/27

2016:8./ 581p
978-4-08-745478-9
本体 ¥1,100〔税込〕



アナグマ国へ

パトリック・バーカム 著
新潮社

アナグマ保護活動家だった祖母の足跡をたどり、人間よりはるか昔から英国に住み親しまれてきた謎多きアナグマの生態と受難の歴史を繙く。現代における動物と人間のあり方を問う英国ネイチャー・ライティング。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:1./ 410p
978-4-10-507221-6
本体 ¥3,520〔税込〕





中国 vs アメリカ～宿命の対決と日本の選択～(河出新書 024)

橋爪 大三郎 著
河出書房新社

2021 年にはアメリカの新しい政権が発足し、世界は新しいスタートを切る。米中対決も、次のステージに進んでいく。米中対決を掘り下げ、その背景、原因、両国の考え方、今後について考える。

日本経済新聞 2021/03/27

2020:12./ 368p,4p
978-4-309-63124-0
本体 ¥990〔税込〕



経営トップの仕事～戦略参謀の改革現場から 50 のアドバイス～

稲田 将人 著
ダイヤモンド社

経営の PDCA を愚直に廻せ! トヨタの実践力とマッキンゼーの戦略プランニング力を身につけた事業再生請負人による、経営トップに向けた骨太の経営論。事業の再活性化、企業再生のヒントが満載。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:1./ 455p
978-4-478-10703-4
本体 ¥1,980〔税込〕



値段がわかれば社会がわかる～はじめての経済学～(ちくまプリマー新書 368)

徳田 賢二 著
筑摩書房

私たちの社会生活において「経済」の占める割合は大きい。そのしくみはいったいどのようなものか。読み解くためのカギは「値段」にある。具体的な生活場面に即しながら、経済学の初歩をやさしく解説する。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:2./ 201p
978-4-480-68391-5
本体 ¥902〔税込〕



市場の世界～新しい経済学を求めて～

丸山 雅祥 著
有斐閣

伝統的な経済学の市場論からの脱却を図る「ミクロ経済学の進化」を辿り、市場メカニズムの虚構を批判的にとりあげ、「市場メカニズム」と「市場の編成原理」を解明。市場を研究した学者の思索のプロセスや人となりも紹介する。

日本経済新聞 2021/03/27

2020:9./
17p,278p,33p
978-4-641-16571-7
本体 ¥2,750〔税込〕



空飛ぶヘビとアミノロボット～動物たちのスゴ技から生まれたテクノロジー～

David Hu 著
化学同人

動物たちがいかに独創的な方法で、自然の法則を利用し、環境に適応し、進化してきたか。イグノーベル賞を2度も受賞した科学者が、動物の動きを真似たロボットやデバイスをどのように開発したのかを紹介する。

日本経済新聞 2021/03/27

2020:12./ 286p
978-4-7598-2061-4
本体 ¥2,640〔税込〕



水の大陸アジア～ヒマラヤ水系・大河・海洋・モンスーンとアジアの近現代～

スニール・アムリス 著
草思社

世界最高峰のヒマラヤ山系に発する幾多の大河が流れるアジア。その水が人びとの暮らしを支え文明のかたちを定め、水をめぐって格差が生まれ闘争が生まれる。アジアの近現代を「水」という次元から検証する。

日本経済新聞 2021/03/27

2021:1./ 498p
978-4-7942-2494-1
本体 ¥4,180〔税込〕





明治十四年の政変(インターナショナル新書 064)

久保田 哲 著

集英社インターナショナル

議会開設、憲法制定、金融制度など、明治国家のかたちを決定づけた明治十四年の政変。「複雑怪奇」と呼ばれる政変を、気鋭の政治史学者が近年の研究成果を盛り込みつつ鮮やかに読み解く。

日本経済新聞 2021/03/27

2021.2./ 277p

978-4-7976-8064-5

本体 ¥1,012〔税込〕



災後日本の電力業～歴史的転換点をこえて～

橘川 武郎 著

名古屋大学出版会

日本電力業の姿を根底から変えた東日本大震災と原発事故。福島への補償から電源エネルギー構成の再編、10 電力体制の終焉まで、政策と経営戦略を包括的に検討し、原発事故前後 25 年の実態を解明。電力業再生への道筋を示す。

日本経済新聞 2021/03/27

2021.2./ 5p,235p

978-4-8158-1015-3

本体 ¥4,950〔税込〕



値段と価値～なぜ私たちは価値のないものに、高い値段を付けるのか?～

ラジ・パテル、福井 昌子 著

作品社

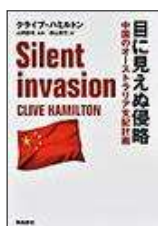
私たちが支払う“価格”は正当なのか? 現在の経済システムでは“値段”と“価値”は比例せず、まったく異なる基準で設定されているという事実を解明し、そうした経済と社会のあり方を問い直す。

日本経済新聞 2021/03/27

2019.2./ 253p

978-4-86182-636-8

本体 ¥2,860〔税込〕



目に見えぬ侵略～中国のオーストラリア支配計画～

クライブ・ハミルトン 著

飛鳥新社

オーストラリアで中国という一党独裁国家の影響が拡大しつつある。オーストラリアにおける中国共産党の組織的な内政干渉工作と、海外プロパガンダ活動を実名告発し、中国が狙うコロナ後の世界制覇の手口を暴露する禁断の書。

日本経済新聞 2021/03/27

2020.6./ 426p

978-4-86410-747-1

本体 ¥2,090〔税込〕



見えない手～中国共産党は世界をどう作り変えるか～

クライブ・ハミルトン／マレイケ・オールバーグ 著

飛鳥新社

民主制度の弱点を利用し、民主制度そのものを弱体化させようとしている中国共産党のグローバルなプログラムとは? 西洋諸国における影響力工作を実名で暴露する。「目に見えぬ侵略」に続く書。

日本経済新聞 2021/03/27

2020.12./ 478p

978-4-86410-801-0

本体 ¥2,200〔税込〕



チェルノブイリの祈り～未来の物語～ 完全版

スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ 著

岩波書店

1986 年 4 月 26 日午前 1 時 23 分、チェルノブイリの原発事故は起こった。人間の想像力をこえる巨大な惨事に遭遇した人びとの語る個人的な体験、苦悩をとおして放たれる切なる声と願いを、丹念な取材により書きとめる。

毎日新聞 2021/03/06

2021.2./ 7p,410p

978-4-00-061452-8

本体 ¥3,630〔税込〕





ステップファミリー～子どもから見た離婚・再婚～(角川新書 K-345)

野沢 慎司、菊地 真理 著

KADOKAWA

ステップファミリー(再婚家族)で起こる虐待の悲劇。それは、「正しい親」幻想が原因だった! 常識化した離婚・再婚家族における親子関係のあり方の歴史や問題点を論じ、今後どのように変わっていくべきかを提言する。

毎日新聞 2021/03/06

2021:1./ 220p

978-4-04-082367-6

本体 ¥990〔税込〕



女神記(角川文庫 き 34-1)

桐野 夏生 著

角川書店

遙か南の島、代々続く巫女の家生まれた姉妹。大巫女となり、跡継ぎの娘を産む使命の姉、陰を背負う宿命の妹。禁忌を破り恋に落ちた妹は、男と二人、けして入ってはならない北の聖地に足を踏み入れた。

毎日新聞 2021/03/06

2011:11./ 267p

978-4-04-100020-5

本体 ¥649〔税込〕



鳴かずのカッコウ～An Offbeat Spy Novel～

手嶋 龍一 著

小学館

ヒトなし、カネなし、武器もなし! 最小で弱小の情報機関・公安調査庁に迷いこんだマンガ大好きオタク青年が、国際諜報戦争で大金星!? 脱力系インテリジェンス小説。『STORY BOX』連載を加筆修正し単行本化。

毎日新聞 2021/03/06

2021:3./ 303p

978-4-09-386603-3

本体 ¥1,870〔税込〕



哲学漫想

山崎 正和 著

中央公論新社

現代を代表する知識人の最後の評論集。死の直前まで書き継がれた「リズムの発現と言語文明」をはじめ、2016年3月以降の論考、時評、書評を収録。人類の壮大な文明史の流れを踏まえ、日本人が進むべき方向を指し示す。

毎日新聞 2021/03/06

2021:2./ 314p

978-4-12-005389-4

本体 ¥2,420〔税込〕



東電福島原発事故自己調査報告～深層証言&福島復興提言:2011+10～

細野 豪志／開沼 博 著

徳間書店

原発事故対応の政府責任者が原発事故時のキーパーソンとの対話を通じて当時を振り返り、この10年の成果を明らかにし、今も残る課題の解決策を記す。福島で復興に挑戦する地元住民との対話も収録。

毎日新聞 2021/03/06

2021:2./ 341p

978-4-19-865273-9

本体 ¥1,870〔税込〕



福島モノローグ

いとう せいこう 著

河出書房新社

震災でプツツと断ち切られてしまったんですよ。その先あったはずの未来というか、父とやるはずだったいろんなものが。福島から語られる「いま」の声を「聴いた」記録。『文藝』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2021/03/06

2021:2./ 201p

978-4-309-02949-8

本体 ¥1,870〔税込〕





尊厳なきバリアフリー～「心・やさしさ・思いやり」に異議あり!～

川内 美彦 著
現代書館

「福祉のまちづくり」や「心のバリアフリー」は、はたして障害者の社会参加実現に役立ってきたのか。障害者の権利や尊厳が保障された社会にしていくために、スローガンの危うさの一つひとつを紐解く。テキストデータ請求券付き。

2021.2./ 211p
978-4-7684-3584-7
本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06



二二八事件の真相と移行期正義

財団法人二二八事件記念基金会 著
風媒社

1947年に発生した「二二八事件」は、台湾を接収した国民政府が国家公権力の行使を通じて台湾人民に行った大規模な人権侵害事件。その真相を探り、自由・民主主義・人権の価値を、現代に問い直す。

2021.2./ 538p
978-4-8331-0588-0
本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06



「喜寿司」のすべて。

中原 一歩 著
プレジデント社

江戸前鮨の開祖の流れを汲む「喜寿司」の握りには、今や消えつつある仕事と心意気が宿っている。1年にわたって「喜寿司」に密着し、移りゆく旬の鮨種とその仕事を追った記録。『dancyu web』連載を加筆し書籍化。

2020.12./ 249p
978-4-8334-5170-3
本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06



人類史マップ～サピエンス誕生・危機・拡散の全記録～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編
テルモ・ピエバニ／パレリー・ゼトゥン 著
日経ナショナルジオグラフィック社

チンパンジーとの共通祖先から進化した人類は、多くの種に枝分かかれし、ホモ・サピエンスだけが生き残った。人類がどのように生まれ、危機の時代を過ごし、世界各地へ拡散していったのかを、考古学的データをもとに再現する。

2021.1./ 207p
978-4-86313-481-2
本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06



現代中国の秘密結社～マフィア、政党、カルトの興亡史～(中公新書ラクレ 716)

安田 峰俊 著
中央公論新社

天安門事件、香港デモ、孔子学院…。中国が激動するとき、必ず秘密結社が現れる! 「洪門」「中国致公党」「法輪功」などの結社が行う“中国の壊し方”と“天下の取り方”に迫り、かれらの奇怪な興亡史を鮮やかに描き出す。

2021.2./ 325p
978-4-12-150716-7
本体 ¥1,012〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06、朝日新聞 2021/03/20



調子悪くてあたりまえ～近田春夫自伝～

近田 春夫／下井草 秀 著
リトル・モア

日本のロック草創期に立ち会い、パンクを輸入し、ヒップホップを世に問い、CM音楽を星の数ほど量産した近田春夫。40時間にわたるインタビューや、秋元康、浅野忠信らの証言で、その半生を振り返る。

2021.1./ 340p
978-4-89815-536-3
本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2021/03/06、東京・中日新聞 2021/03/14



灰の劇場

恩田 陸 著
河出書房新社

「飛び降り 2 女性の身元わかる」という三面記事。私は確かにそのふたりを知っていた。もともと、私はそのふたりの顔も名前も知らない…。恩田陸の新境地となる、“事実に基づく物語”。『文藝』連載を単行本化。

2021:2./ 339p
978-4-309-02942-9
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 9 4 2 9 *

毎日新聞 2021/03/06、日本経済新聞 2021/03/27



アンブレイカブル

柳 広司 著
KADOKAWA

1925 年、治安維持法成立。太平洋戦争の軍靴の響きが迫るなか、罪状捏造に走る官憲と信念を貫く男たちとの闘いが始まった。小林多喜二、三木清…。法の贅となった、敗れざる者たちの矜持を描く。歴史スパイ・ミステリ。

2021:1./ 262p
978-4-04-110941-0
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 1 0 9 4 1 0 *

毎日新聞 2021/03/07



或るギリシア棺の謎

柄刀 一 著
光文社

心臓移植を経験している南美希風と、執刀医の娘エリザベスのもとに、篤志家・安堂朱海の訃報が届く。弔意のために安堂家を訪れた彼女たちは、奇妙な因習、複雑な人間関係、そして未解決のままの悲劇の存在を知り…。

2021:2./ 375p
978-4-334-91386-1
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 3 3 4 9 1 3 8 6 1 *

毎日新聞 2021/03/07



繭、纏う<1>(BEAM COMIX)

原百合子 著
KADOKAWA

制服が息する音、聞いたことある?森に隠されるように建つ星宮女学園高等学校。伝統の制服は、まるで生きているように美しい…。初短編集『熱海の宇宙人』で鮮烈な印象を残した新鋭が贈る初連載。

2018:9./ 178p
978-4-04-735319-0
本体 ¥759〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 7 3 5 3 1 9 0 *

毎日新聞 2021/03/13



不寛容論～アメリカが生んだ「共存」の哲学～(新潮選書)

森本 あんり 著
新潮社

「不愉快な隣人」とどう付き合うか。不寛容だった植民地時代のアメリカで、異なる価値観を持つ人びとが暮らす多様性社会を築いた偏屈なピューリタンの苦闘から、そのしたたかな共存の哲学を読み解く。

2020:12./ 297p
978-4-10-603860-0
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 6 0 3 8 6 0 0 *

毎日新聞 2021/03/13



ルポ「命の選別」～誰が弱者を切り捨てるのか?～

千葉 紀和／上東 麻子 著
文藝春秋

妊婦の不安を煽る出生前診断ビジネス、障害児の治療拒否…。わが国の「優生社会」化が止まらないのはなぜか?『毎日新聞』のキャンペーン報道「旧優生保護法を問う」の取材班だった2人の著者が、命とは何かを問う。

2020:11./ 325p
978-4-16-391304-9
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 3 0 4 9 *

毎日新聞 2021/03/13



未(イマ)来タル～詩の礫十年記～

和合 亮一 著
徳間書店

2011 年 3 月、福島で被災した詩人がツイッターから放った叫びは「詩の礫」と名付けられ、心の記憶を刻み続ける。未だ来たらぬ未来へ向けて。詩篇、十年記、若松英輔らとの対話で綴る東日本大震災との対峙。

毎日新聞 2021/03/13

2021.2./ 309p
978-4-19-865250-0
本体 ¥2,420〔税込〕



白い骨片～ナチ収容所四人の隠し撮り～

クリストフ・コニエ 著
白水社

ナチ強制収容所の囚人たちによる命がけの「隠し撮り」を手がかりに、ホロコーストの歴史を無修正で物語る。映画「夜と霧」「ショア」の記憶を確かめるため、5 つの収容所を実地調査した、戦慄の「写真論」。

毎日新聞 2021/03/13

2021.1./ 514p,12p
978-4-560-09814-1
本体 ¥7,700〔税込〕



中国人のお金の使い道～彼らはどれほどお金持ちになったのか～(PHP 新書 1246)

中島 恵 著
PHP研究所

都市部の世帯は持ち家を平均 1.5 軒持ち、北京市の平均世帯資産は 1 億 3392 円に上る。なぜ、彼らは「お金持ち」になったのか？ 中国人の日常生活の様子、価値観、ライフスタイルの変化を「お金」を切り口に紹介する。

毎日新聞 2021/03/13

2021.1./ 235p
978-4-569-84845-7
本体 ¥990〔税込〕



ヒトはなぜ自殺するのか～死に向かう心の科学～

ジェシー・ベリング 著
化学同人

自ら命を絶つ唯一の動物、ヒト。それは「他者の気持ちを押し量る」心の進化のせいなのか。鬱で自殺の危機を経験した心理学者が、精神疾患との関係、メディアの報道のあり方等を論じながら、死に傾く心の内を科学的に分析する。

毎日新聞 2021/03/13

2021.1./ 352p,12p
978-4-7598-2057-7
本体 ¥2,970〔税込〕



チェ・ゲバラ モーターサイクル南米旅行日記 増補新版

エルネスト・チェ・ゲバラ 著
現代企画室

「世界で最も美しい革命家」チェ・ゲバラの若き日の姿。無鉄砲で情熱的な毎日を綴る放浪日記。映画「モーターサイクルダイアリーズ」原作。写真を差し替え、演説などを新たに収録した 1997 年刊の増補新版。

毎日新聞 2021/03/13

2004.9./ 219p 図版
16p
978-4-7738-0408-9
本体 ¥2,420〔税込〕



花火景

冴木 一馬 著
赤々舎

唯一無二の時間と記憶が刻まれる、瞬間の花火景。夏の花火大会から新年のカウントダウン、ベルリンの壁崩壊 30 周年時の花火まで、花火写真の第一人者・冴木一馬の作品から厳選した約 70 枚の写真を収録する。

毎日新聞 2021/03/13

2020.12./ 1 冊(ページ付なし)
978-4-86541-126-3
本体 ¥3,300〔税込〕





「共食」の社会史

原田 信男 著
藤原書店

同じ時に、同じ場所で、同じものを食べる「共食」。「孤(個)食」が社会問題化し、またコロナ禍の中で「会食」のあり方が問われている今、日本史において「共食」を通じて結ばれてきた様々な“絆”とその変遷を辿る。

毎日新聞 2021/03/13

2020.12./ 424p
978-4-86578-297-4
本体 ¥3,960〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 2 9 7 4 *



百鬼園先生～内田百閒全集月報集成～

佐藤 聖 編
中央公論新社

講談社版「内田百閒全集」(全 10 巻)、福武書店版「新輯内田百閒全集」(全 33 巻)の月報と福武文庫の内田百閒シリーズ(全 29 冊)の解説を集成。作家、文学者、友人ら総勢 87 名が内田百閒の人と作品の魅力を多彩に語る。

毎日新聞 2021/03/13、産経新聞 2021/03/21

2021.1./ 513p
978-4-12-005374-0
本体 ¥5,280〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 3 7 4 0 *



クララとお日さま

カズオ・イシグロ 著
早川書房

人工知能を搭載したロボットのクララは、病弱の少女ジョージと出会い、やがて 2 人は友情を育んでいく。愛とは? 知性とは? 家族とは? 生きることの意味を問う感動作。

毎日新聞 2021/03/13、読売新聞 2021/03/21、毎日新聞 2021/03/27

2021.3./ 440p
978-4-15-210006-1
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 0 6 1 *



だいちょうことばめぐり

朝吹 真理子 著
河出書房新社

家族のこと、ごはんのこと、すぎゆく季節のあれやこれや…。ふとした瞬間よみがえる記憶や、日々の出来事を描いたエッセイ集。花代による幽玄な写真も多数掲載する。『銀座百点』連載を書籍化。

毎日新聞 2021/03/13、日本経済新聞 2021/03/20

2021.1./ 242p
978-4-309-02873-6
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 0 2 8 7 3 6 *



貞観政要～全訳注～(講談社学術文庫 2642)

呉 兢 編
講談社

唐王朝の最盛である 7 世紀に、皇帝・太宗が臣下と議論を交わし、痛烈な諫言を受け入れた様子を編纂した「貞観政要」。平安時代以来、帝王学の書として統治者達に読まれてきたその全文を、平明な文章で訳し、注釈・解説を加える。

毎日新聞 2021/03/20

2021.1./ 772p
978-4-06-521912-6
本体 ¥2,541〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 1 9 1 2 6 *



あの夏の正解

早見 和真 著
新潮社

2020 年、新型コロナ拡大により選抜に続いて夏の甲子園も中止。夢を奪われた強豪校の球児と指導者は何を思い、どう行動したのか。未曾有の試練に直面した人々に迫るノンフィクション。『愛媛新聞』掲載に加筆・修正。

毎日新聞 2021/03/20

2021.3./ 220p
978-4-10-336153-4
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 3 3 6 1 5 3 4 *



歴史探偵忘れ残りの記(文春新書 1299)

半藤 一利 著

文藝春秋

歴史に遊び、悠々と時代を歩んだ昭和史最良の語り部、半藤一利が遺したエッセイ集。歴史のよもやま話から、ことばのウンチク、悪ガキ時代を描いた自伝的エッセイまで収録する。絶筆となった「あとがき」も掲載。

2021.2./ 268p

978-4-16-661299-4

本体 ¥935〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



みんなふつうで、みんなへん。(読書の時間 5)

枘野浩一 著

あかね書房

ボウルをボールとまちがえた、ネコはオスしかウンチしないと思っていた…。それぞれの思いこみやかんちがい、へんだけど、みんなふつう！小学生が出合う、ささやかな出来事を楽しく描く。『毎日新聞』連載を元に加筆。

2021.1./ 95p

978-4-251-04475-4

本体 ¥1,320〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



ifの地球生命史～“もしも”絶滅した生物が進化し続けたなら～

土屋健 著

技術評論社

地質時代に生き、滅んでいった古生物たち。もしも、古生物が滅びず、子孫を残し、進化を重ねることができたのなら、どのような生物が登場したのか。そんな「ifの物語」を、超リアルなCGで展開する。

2021.2./ 197p

978-4-297-11920-1

本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



マリ・ド・メディシス～母と息子の骨肉の争い～

ミシェル・カルモナ 著

国書刊行会

フランス王アンリ 4 世と結婚、夫の暗殺後、息子のルイ 13 世の摂政となるが、宰相リシュリューの処遇をめぐる息子と対立し、最後は国外追放となり…。マリ・ド・メディシスの波乱万丈の生涯を描く。

2020.12./ 892p

978-4-336-06605-3

本体 ¥9,680〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



<こころ>とアーティフィシャル・マインド

河合 俊雄、吉岡 洋、西垣 通、尾形 哲也、長尾 真 著

創元社

人工知能の現在と<こころ>の本質をめぐる、各界の第一人者が多彩な切り口から、スリリングな問題提起と議論を展開する。第4回京都こころ会議シンポジウムでの3つの講演、および最後のディスカッションでの討論を収録。

2021.2./ 163p

978-4-422-11757-7

本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



妄想古典教室～欲望で読み解く日本美術～

木村 朗子 著

青土社

古代中世の世界を理解したければ、相応の妄想力が必要。古代中世の人々がものした物語、絵巻、仏像などを妄想たつぷりに読み解き、古代中世社会の思考をあぶり出す。『web ちくま』連載に加筆修正し書籍化。

2021.2./ 294p

978-4-7917-7349-7

本体 ¥2,200〔税込〕



毎日新聞 2021/03/20



教養としての「地政学」入門

出口治明 著

日経BP社

地政学とは、ナチスも利用した「悪魔の学問」ではなく、ビジネスにも不可欠な「弱者の生きのびる知恵」である。出口治明が、マッキンダーやマハンなど現代の古典を踏まえて人類史をシンプルに俯瞰する、地政学の入門書。

毎日新聞 2021/03/20

2021:2./ 310p

978-4-8222-9284-3

本体 ¥1,980〔税込〕



金子兜太～俳句を生きた表現者～

井口 時男 著

藤原書店

過酷な戦場体験を原点として、前衛俳句の追求から、「衆」の世界へ、そして晩年にはアニミズムに軸足を据えた金子兜太。戦後精神史に屹立する比類なき「存在者」の根源に迫る。『兜太 TOTA』連載を改題、加筆し単行本化。

毎日新聞 2021/03/20

2021:1./ 237p

978-4-86578-298-1

本体 ¥2,420〔税込〕



ウィーン近郊

黒川 創 著

新潮社

四半世紀を暮らしたウィーンで自死を選んだ兄。報せを受け、渡奥した妹は、生きあぐねた兄の生の軌跡を辿る。孤独を抱えながらも懸命に生きたひとつの生涯を鎮魂を込めて描きだす中篇小説。『新潮』掲載を単行本化。

毎日新聞 2021/03/20、朝日新聞 2021/03/27

2021:2./ 144p

978-4-10-444411-3

本体 ¥1,980〔税込〕



人間の絆<上>(新潮文庫)

モーム、中野 好夫 著

新潮社

毎日新聞 2021/03/27

2007:4./ 660p

978-4-10-213025-4

本体 ¥979〔税込〕



人間の絆<下>(新潮文庫)

モーム、中野 好夫 著

新潮社

毎日新聞 2021/03/27

2007:4./ 680p

978-4-10-213026-1

本体 ¥979〔税込〕



血も涙もある

山田 詠美 著

新潮社

有名料理研究家の妻、年下の夫、そして妻の助手兼夫の恋人。はじめは、微妙なバランスを保っていた 3 人の関係は、ユーモラスに残酷に、その味わいを変えていく。『小説新潮』連載を単行本化。

毎日新聞 2021/03/27

2021:2./ 224p

978-4-10-366817-6

本体 ¥1,650〔税込〕





性の歴史<4> 肉の告白

フレデリック・グロ 編
ミシェル・フーコー 著
新潮社

人はどのようにして「欲望の主体」となったか。2?5 世紀のキリスト教教父の文献を分析し、悔悛の実践、修道制の発達、処女・童貞性と結婚など現代に連なる「欲望の解釈学」の形成を解明。現代思想の巨人の最後の主著、完結。

2020.12./ 554p,20p
978-4-10-506712-0
本体 ¥4,730〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



サラ金の歴史～消費者金融と日本社会～(中公新書 2634)

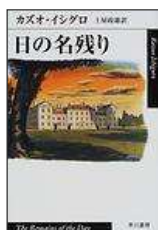
小島 庸平 著
中央公論新社

日本の経済史上、最も浮沈の激しい業界の一つだったサラ金の歴史には、近現代の日本社会が経験したダイナミックな変化が鮮やかに反映している。1960 年代に生まれたサラ金の歴史を、その前後の時期も含めてたどる。

2021.2./ 6p,344p
978-4-12-102634-7
本体 ¥1,078〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



日の名残り(ハヤカワ epi 文庫)

カズオ・イシグロ 著
早川書房

短い旅に出た老執事が、美しい田園風景のなか古き佳き時代を回想する。長年仕えた卿への敬慕、執事の鑑だった亡父、女中頭への淡い想い、二つの大戦の間に邸内で催された重要な外交会議の数々……。遠い思い出は輝きながら胸のなかで生き続ける。失われゆく伝統的英国を描く英国最高の文学賞、ブッカー賞受賞作。解説／丸谷才一

2001.5./ 365p
978-4-15-120003-8
本体 ¥836〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



低学年担任のためのマジックフレーズ～子どものやる気をどんどん引き出す!～

林 真未 著
明治図書出版

「どうして伝わらないの?」がなくなる! 低学年の子どもたちの素直な心をくすぐるマジックフレーズを紹介する。ほめ方・叱り方からトラブル対応まで、「低学年あるある」のケースを押さえた、場面別の言葉かけが満載。

2021.2./ 151p
978-4-18-317224-2
本体 ¥2,046〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



野球の超正論～ゆけゆけ!「無敵バッテリー」～

江本 孟紀／里崎 智也 著
徳間書店

無観客試合、甲子園中止、日本シリーズでさらにわかったパとセの格差…。投手出身の江本孟紀、捕手出身の里崎智也という、元プロ野球選手で解説者の 2 人が、コロナ禍という特別な年の野球について、余すことなく語り尽くす。

2020.12./ 247p
978-4-19-865215-9
本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



須賀敦子を選んだ日本の名作～60 年代ミラノにて～(河出文庫 す 4-13)

須賀 敦子 編
河出書房新社

須賀敦子が編・訳・解説を行い、イタリアで今なお読み継がれている「日本現代文学選」。その中でも須賀がとりわけ愛した樋口一葉、森?外、庄野潤三ら 13 人の作家の日本語原典を各作品解説とともに収録する。

2020.12./ 487p
978-4-309-41786-8
本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



ぼく自身のノオト

ヒュー・プレイサー 著
創元社

ぼくにはわかっている、ぼくの人生をよぎるこの不安とは、「こうあるべき」自分と、ありのままの自分との戦いなんだ。青年期の心をめぐる、生き方を確立する方法をさがし求める心理エッセイ。

2021.1./ 223p
978-4-422-93089-3
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



白鵬の脳内理論～9 年密着のトレーナーが明かす「超一流の流儀」～

大庭大業 著
ベースボールマガジン社

“弱い”という自覚こそが、白鵬関の“強さ”の原点。専属トレーナーとして白鵬から絶大な信頼を寄せられる著者が、日々記したメモから、最強横綱の流儀と生き方を明かす。

2021.3./ 253p
978-4-583-11325-8
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



しゃにむに写真家

吉田 亮人 著
亜紀書房

<働く人>や<生と死>をテーマに撮影し、国内外で注目される写真家・吉田亮人。教師から一転、専門的に学んだことのない世界に踏み出してからの 10 年を振り返る。ウェブマガジン『あき地』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021.2./ 301p
978-4-7505-1686-8
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27



シェルパ斉藤の親子旅 20 年物語(わたしの旅ブックス 028)

斉藤 政喜 著
産業編集センター

四国・関西をめぐる列車旅、八ヶ岳登山、ネパール MTB ツーリング…。紀行作家の著者が、6 歳から 27 歳まで息子の成長の節目の「親子旅」をまとめた本。子連れアウトドアのノウハウやアドバイスも満載。

2021.2./ 284p
978-4-86311-286-5
本体 ¥1,210〔税込〕



毎日新聞 2021/03/27